

竹田

広報 TAKETA

4

2011

広報たけた

自然・歴史・文化を育む 名水名湯田園観光都市 竹田市



Taketa Public Relations No.73

ひと えん はか も 人の縁をつなぐ墓守り桜

清水さんちの上の枝垂れ桜



↑花見を楽しむ地域のみなさん

3月下旬から4月初旬にかけて、忙しい時期を迎える清水博忠さん（上坂田西・73歳）。家の裏にある見晴らしの良い丘の上の墓地に咲く枝垂れ桜。樹齢は70年（定かではありません）。土地の所有は清水さんですが、戦死された方の墓を昭和16年に建立。のちに、その遺族が墓の傍に、枯れた松の代わりとして植えたのが小さな枝垂れ桜でした。時は過ぎ、9年前にこの地を訪れた写真家が撮影し『墓守り桜』と名付け写真雑誌に掲載。以降、その名は一躍有名になったそうです。訪れるカメラマンや見物客を相手に、清水ご夫妻はいつも優しい笑顔で出迎え、縁側でお茶などを振舞います。次第にこの枝垂れ桜を縁に交流が広がりをみせ、年に何度も竹田に訪れ、長年の親友のように人付き合いをしていく人も少なくありません。

昭和13年生まれの清水さんにとって、同じ時代を歩んできたこの桜は、家族と同然のような存在です。「毎年、人の出合いが楽しみ。私にとっては、縁を作ってくれる桜の木なのです」

墓守り桜をきっかけに、地元の若い衆を中心とした『イルミ会』が案内看板を自主的に作ったり、隣近所の主婦たちがお茶受けを持ち寄りたりと、地域の交流の輪も広がっているようです。

これからも、桜を愛する人々との縁をつなぎ、末長くこの地域を見守ってくれることでしょう。

この枝垂れ桜は個人宅の桜です。くれぐれもマナーを守ってご観覧ください。

竹田地域の「と見聞きしました

再発見!

竹田総合地域学センター由学館の平成22年度活動内容とその成果を発表する『第1回由学館セミナー』が3月13日、竹田市総合社会福祉センターで開かれました。

今回は『産物・産業による地域活性化の原点を探る』を課題テーマに、4名が研究報告。終了後、参加者との活発な意見交換が行われました。



↑豊田寛三さん(別府大学学長)、工藤真由美さん(竹田立歴史資料館)、松田専三さん(京都大学)、平尾胖さん(竹田市文化財保護調査員)の4名が研究報告を行いました。

「竹田総合地域学センター由学館」は、竹田地域の総合的な研究を通して、地域に自信と誇りを持ち、地域を担う人材や地域の生活・文化の向上を目指すという平成22年度に設立されました。

今回のセミナーは、はじめに由学館館長の豊田寛三さん(別府大学学長)が「近世産業技術の伝播について」を研究報告。続いて、竹田市立歴史資料館専門員の工藤真由美さんは、「岡藩『村々産物之覚』にみる産物・産業」、由学館理事の松田清さん(京都大学教授)は「豊後国志」にみる物産・産業」、同じく由学館理事の平尾胖さん(竹田市文化財保護調査委員)は「岡藩から紀州藩への贈答品について 小河一敏と染浦さん」、以上4名が研究報告を発表しました。

参加者は竹田地域の人々の営みを見つめ直すことで、この地域の魅力を発見したことでしよう。

珍しい贈答品のやりとりが明らかに

今回のセミナーで、小河一敏の古文書を解読し、「岡藩から紀州藩への贈答品について」を発表した平尾胖さん(竹田市文化財保護調査委員)の報告をご紹介します。

『紀州藩 御奥老女 染浦』

小河家に伝わる膨大な文書の中に、紀州藩西浜の御殿にのみ務める御奥老女 染浦(御名すめ)と称する女性からの書状がある。この女筆でしたためられた文書は、天保元年寅(1830)から天保十年亥(1839)の十年間、約208通の書状が、大切に小河一敏によつて整理され、今日まで保存されていた。奥老女こと染浦は、豊後佐伯藩毛利和泉守の家系、黒木常右衛門實有の女子で、安永二年巳(1773)

に佐伯にて御誕生とある。小河一敏の祖父は、この染浦の實兄にあたり黒木常右衛門實有の五男で安永九年子(1780)四月、小河家の婿養子となつてい。染浦からすれば小河一敏は、甥、伯母の間柄であり、一敏が文化十年酉(1813)正月の誕生であることから、丁度四十

年の歳の差となる。奥老女こと染浦の詳細については、一敏が著述した家譜の中に「妙感孺人」と題した詳しい記述があり、特に紀州藩十代藩主徳川治寶(極位極官は従一位大納言に仕える染浦の様子)が尊敬の念を込めて述べられている。妙感孺人こと染浦は、安永二年巳(1773)佐伯の黒木氏にて誕生、三歳の時、母と離れ父兄と共に江戸に出て、九歳の時、尾州末家の高須候の藩士内田伊右衛門の伯母で、尾州家の連枝方御付きの老女こと峰崎に養女として預けられ、峰崎



↑平尾さんによる古語訳が入った、小河家古文書が写し。「手紙には感情が出るもの。小河一敏の人間性をひとり楽しんで」という。

- 「小河家からの贈り物」(一部抜粋)
- 梅子 豊後国志にあるように實大、肉厚、核小、最美の梅。染浦死後も大納言に送られている。
 - 椎茸 肥後の土産。もち米を石臼でひき、水飴と砂糖で練ったもの。元の名は長生飴。
 - 朝鮮餅 竹田奇聞には文政十年五月、節句の粽を延し乾燥し、田能村竹田が醤油で詩歌を書き茶菓子にしたとある。
- 「大納言様、染浦からの贈り物」(一部抜粋)
- 烏犀園 一敏の父、總次郎の手足叶わぬ中風の薬にと、官製の烏犀園を御菓子、御葛、御砂糖を添えとある。
 - 御硯 紀州産、神の上石にて御彫物師、如拙齊作の銘硯。
 - 袴地 西浜御殿御庭織の茶字縞御袴地、二巻
 - 雁金弓 一通りの弓とは違い、和佐杏右衛門と申す指南役に頼み鑄込み取りかかりとある。弓の稽古を怠らない總次郎(一敏の父)への特注品。
 - 鯨 此の鯨一桶、相も変わらず、いたただかせ候様にとのこと。お手前御手製の御汁仕立てに成し。

その後行き来も遠々であったが、染浦より小河一敏の父、小河總次郎一寧への書状が天保元年寅(1830)に出され、江戸黒木家より小河家に届いたとされている。この時、お返し

「温泉療養保健制度」国内初の挑戦

「自然治癒力を高める」ために、日本では湯治という習慣がありました。竹田市には、稀な炭酸泉をはじめ貴重な温泉が数多く湧出しています。この温泉の持つ力で、「予防医学」を推進し、温泉療養を目的とした滞在に保健（3泊以上の滞在者に入浴料と宿泊料の一部助成）が適用されるといふ画期的な制度導入を目指して、今年度の実証実験を計画しています。

実証実験に先立ち、観光庁の「モニターリズム推進事業」に全国公募の中から採択され、支援を受けることになった「現代版湯治・温泉療養保健システムモニターツアー」が3月2日から5日までの4日間、市内久住・直入を宿泊地として行われました。首都圏や福岡近郊から33人が参加。

温泉に入り、自然治癒力の向上や心身のリフレッシュが図れるプログラムを思い思いに体験をしました。

←初日と最終日にメディカルチェックを受け、リフレッシュ度を確かめます



松田忠徳先生講演会

温泉を楽しみながら健康になる

（予防医学としての温泉利用術）

モニターツアーの初日、温泉学の第一人者松田忠徳先生の講演が行われました。内容の一部をご紹介します。

400年以上変わっていないものは、何かわかりますか。それは、我々の『からだ』です。葉なども行きつくところまできましたが、『からだ』は何にも変わっていません。だから病気が絶えないのです。むしろ病気になるやすい。自然治癒力、免疫力を引き出す力を全く無くしてしまっているのです。1962年にヨーロッパの学者が生命の起源からあったヒートショックプロテイン（熱ショックタンパク質：HSP）というタンパクを発見しました。

我々の60兆からなる細胞に傷がついて、それが周りに傷を撒き散らして、がんができあがり、広がっていく。

実は、適度のストレスが我々の細胞を修復してくれています。我々の体温は大体36度から37度で

す。体温以上の湯につかることはストレス。でも、日本人にとっては気持ちのよいもの。体に熱のストレスを与えることで良質のタンパク質ができあがっています。医学的に話しますと、我々のすべての細胞は43度で死にます。我々は外から温めると気持ちいい生きものです。中から発熱すると、37度を超えたらフラフラする人だっています。生体防衛反応が働き、血が一瞬懸命働いて、43度にならないように分解し、発汗をさせます。我々は湯治で、これまでたくさんのがん細胞を殺してきたのです。

病原菌と戦う力を免疫力と言いますが、ヒートショックプロテインはすべての生き物にあります。動物は病気になる山と山の茂みでじっとしている。物を食べない。食べないと全身に血がまわって、全身が温まるのです。我々人間は病気になるからといって、たくさん食べる胃腸に血液が集中

温泉を『予防医学』

に使ってください！

松田 忠徳 まつただだのり

1949年 北海道洞爺湖温泉生まれ
東京外国語大学大学院修了（モンゴル文学、アフリカ文学専攻）文学博士、医学博士、旅行作家、モンゴル研究家 札幌国際大学観光学部教授、モンゴル国立医科伝統医学部教授
「温泉教授」の異名で知られる温泉学の第一人者で、全国の温泉地域活性化の指導を行っている。これまでに巡った温泉は4500を超す。



し、全身に血がまわらず、また悪くなるのです。
免疫の中核は、白血球です。増えても減り過ぎてもがんになります。「機能」と「数」が重要になります。リンパ球が免疫細胞で根幹を成していますが、この中にはがんを殺すNK細胞などがあります。

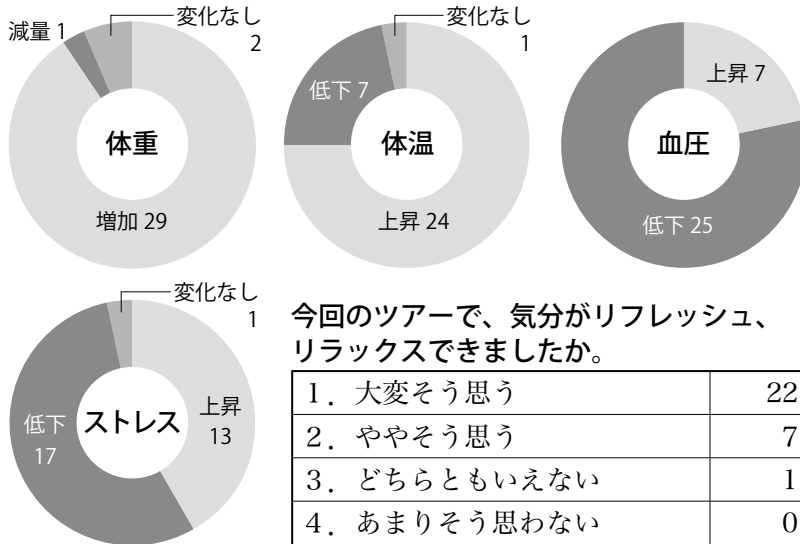
自律神経は、交感神経と副交感神経の2つの神経系からなりま

☆モニターツアー参加者のアンケート結果の一部をご紹介します

○温泉療養保健システムについて

- ・「薬に頼らない昔ながらの温泉による湯治療養に着目し、実践されることは温泉好きにとっては喜ばしいこと。個人でも、もう一度温泉療養保健システムに参加したい」
- ・「使用できる施設を増やして、どこへ行っても還元してもらえるようにしてほしい」
- ・「パスポート形式ではなく、先に何か所か入れる温泉の入浴料を払い、温泉を巡り歩くほうがよいと思う。施設が少ないとそこへしか行けないし、払い戻しは面倒」
- ・「温泉治療、療養型の施設が普及すると高齢者は大変ありがたいし、利用してみたい（3～7泊型で、一部保健適用など）」

○モニターツアーに参加者のメディカルチェックの結果



※今回の宿泊・入浴の保健適用、体験プログラムクーポン、メディカルチェックや講演にすべてに86%の方が好印象の結果でした。様々なご意見、ご提案を今後の実証実験に参考にさせていただきます。



竹田♥ファン宣言!

←山崎未奈子さん（佐賀県鳥栖市）、
福地三穂子さん（佐賀県武雄市）、
末森佳子さん（福岡県福津市）、
今石ヒサ子さん（宇佐市）

「ストレス度は減りましたが、みんな体重は増えていました（笑）体験プログラムでは至れり尽くせりのもてなしが嬉しかった。特に岡城で散歩だけでなく、花見体験や歌などを聞かせてくれた。要望として、竹田市内の交通サービスをぜひ充実させてほしいです」

副島達之助さん（長崎市・82歳）

「あと2、3日長くてもいいなあと思いました。温泉でゆったりした気分になりました。ストレスチェックで初日の数値が80あったのが、17に減った。リラックスできたことを実感しましたね」



臓がばくばくしている緊張状態あんまり行き過ぎると病気になる。副交感神経は笑っている状態や、寝ている状態を指します。この両方のバランスが必要で、自身を「非日常」に置くことで、もつと効果が得られます。この自律神経のバランスは、白血球と連動しています。そして、温かい方が機能するのです。

まず、我々はいかに生きる力、生命力、免疫力を引き出しながら、それでも間に合わなかったら病院に行くことです。

我々は動物と同じように、自らを治せる技術を持っているのです。それを我々は引き出す力が無くしてしまっただけです。

大人の場合、体内温度（内臓温度）が37・2度から38度になると、免疫細胞が働いて、がん細胞やカゼのウィルスと戦い始めます。子どもの場合、発熱しやすい。発熱して、自分を守っているのです。

今時の方は、低体温の方が多い。体温が低い程、がん細胞は増えやすいのです。入浴する時もゆつたりと入ってください。湯治を1週

間続けると基礎体温は約1度上がります。家に帰ると元に戻ってしまふと考えられています。我々の『からだ』は最も心地よい状態を維持しようとしています。病気になる方なら湯治は2、3泊で効果があります。それを年に2回くらい維持すれば良いのです。

この手法は家庭の風呂でも使えます。家でシャワーだけで済まさないでください。浸かって温める、という作業をどうぞ続けてみてください。

第24回岡の里名水マラソン大会

1937人の雨の里名水マラソン大会が快走

3月6日、竹田の春を告げる『岡の里名水マラソン大会』が竹田市文化会館前をスタート、フィニッシュとするコースで開催されました。

今年は史上最多の1,937人(申し込み数2,237人)のランナーが参加。年齢や距離等で分類されたマラソン26部門とウォーキング2部門があり、降りしきる早春の雨の中、参加者は豊かな自然が続く名水の里を舞台に、地元の人とのふれあいを楽しみながら走っていました。



【写真解説】①明正井路を走り抜けるランナーたち ②間に合った！制限時間終了2秒前にゴール！③『豊後の国エイサー同好会』が景気づけ！④名水はコチラ！ ⑤市職員女性部による心も温まる豚汁 ⑥ゴールの水たまりを掃く陸協のみなさん ⑦選手宣誓！竹田南部中2年の後藤翔太さんと堀青葉さん ⑧パンダくん、おつかれさま ⑨元気にVサイン ⑩「もう少した、がんばれ！」伴走する仲間たち ⑪安堵の表情でゴール ⑫リサイクルを支えるボランティアのみなさん ⑬調理室で仕込みをする婦人会 ⑭温かい地域の声援 ⑮フルマラソン女性トップの山崎広美選手 ⑯ゴールした選手に水を配る子どもたち

入賞おめでとう！（敬称略）

フルマラソン ◆男性40歳未満

- ①庄子哲也（福岡県） 2時間30分13秒
- ②藤原洋志（大分市） ③吉良進（竹田市・竹田市陸協） ◆男性40歳〜44歳 ①蔵本康孝（大阪府） 2時間45分30秒 ②内海克己（大分市） ③小澤賢二（大分市） ◆男性45歳〜49歳 ①江頭 徹（福岡県） 2時間43分5秒 ②河田 透（熊本県） ③穴見 晋（大分市） ◆男性50歳〜54歳 ①小野眞二（福岡県） 2時間56分18秒 ②若見芳之（福岡県） ③瀧上哲郎（福岡県） ◆男性55歳〜59歳 ①高松 稔（宮崎県） 2時間57分29秒 ②西村繁幸（長崎県） ③橋本恭周（福岡県） ◆男性60歳〜64歳 ①石川章一（白杵市） 3時間6分47秒 ②藤川敏雄（佐賀県） ③毛利邦博（福岡県） ◆男性65歳〜69歳 ①吉田源市（福岡県） 3時間35分34秒 ②筒井雅洋（福岡県） ③高倉義光（福岡県） ◆男性70歳以上 ①川田武男（福岡県） 3時間51分25秒 ②竹村信昭（熊本県） ③阿部 誠（白杵市） ◆女性40歳未満 ①山崎広美（福岡県） 2時間59分2秒 ②青木利枝（大分市） ③浦本優子（熊本県） ◆女性40歳以上 ①床島由美子（福岡県） 3時間15分11秒 ②尾坂喜代美（熊本県） ③小野澤万紀子（東京都）

フルマラソン ◆男性40歳未満

- ①野中洋輝（大分市） 1時間8分42秒 ②安藤泰英（竹田市・別府自衛隊） ③川下尚亮（別府市） ◆男性40歳代 ①河津宜昌（佐伯市） 1時間19分56秒 ②堤 英樹（佐賀県）

フルマラソン ◆男性40歳未満

- ③吉田晋也（白杵市） ④佐田修一（竹田市・榊田整備工場） ◆男性50歳代 ①秦 親房（大阪府） 1時間25分25秒 ②藤田義昭（別府市） ③富田実夫（宮崎県） ◆男性60歳代以上 ①吉長倫仁（日田市） 1時間29分13秒 ②中井 通（大分市） ③前田哲男（福岡県） ◆女性40歳未満 ①藤内愛都紗（大分市） 1時間36分52秒 ②野田博美（熊本県） ③伊藤弥生（竹田市・竹田医師会病院） ◆女性40歳以上 ①藤野寿代（大分市） 1時間39分13秒 ②清原聡美（別府市） ③白石和代（熊本県）

フルマラソン ◆男性40歳未満

- ④堀青葉（竹田市・竹田南部中学校） ⑤志賀寧々（竹田市・久住中学校） ⑥志賀寧々（竹田市・久住中学校） ◆小学生男子 ①渡辺 翼（豊後大野市） 9分48秒 ②倉野恭佑（竹田市・南部小5年） ③土谷智紀（豊後大野市） ◆小学生女子 ①工藤杏華（豊後大野市） 9分44秒 ②富樫葵（豊後大野市） ③阿南 芳（豊後大野市）

フルマラソン ◆男性40歳未満

- ④堀青葉（竹田市・竹田南部中学校） ⑤志賀寧々（竹田市・久住中学校） ⑥志賀寧々（竹田市・久住中学校） ◆中学生女子 ①高橋彩良（豊後大野市） 9分42秒 ②工藤佑華（豊後大野市） ③後藤美音（豊後大野市）



フルマラソン男性40歳未満第1位
庄子 哲也さん
(福岡県)

「初のフルマラソンの挑戦でしたが、想像以上にキツかったです。神原溪谷の景色がとてすばらしかったです！沿道の応援が温かくて嬉しかったです」

◆一般男性 ①渡邊一義（竹田市・竹田市陸協） 12分43秒 ②山本和弘（福岡県） ③藤本秀久（福岡県） ◆一般女性 ①渡邊知穂（竹田市・豊後大野市民病院） 14分39秒 ②山本侑以（豊後高田市） ③尾崎多美子（白杵市） ④松田典子（大分市） ⑤後藤 葵（大分市） ⑥後藤由里（熊本県） ◆高校生女子 ①松木早紀（別府市） 17分12秒 ②下嶋 梓（別府市） ③河野 歩（別府市） ◆中学生男子 ①倉野峻丞（竹田市・竹田南部中3年） 12分25秒 ②後藤光希（豊後大野市） ③副田拓樹（竹田市・久住中学校） ④鳥倉寛維（竹田市・竹田中学校） ◆中学生女子 ①高橋彩良（豊後大野市） 9分42秒 ②工藤佑華（豊後大野市） ③後藤美音（豊後大野市）

◆小学生男子 ①渡辺 翼（豊後大野市） 9分48秒 ②倉野恭佑（竹田市・南部小5年） ③土谷智紀（豊後大野市） ◆小学生女子 ①工藤杏華（豊後大野市） 9分44秒 ②富樫葵（豊後大野市） ③阿南 芳（豊後大野市）

◆一般男性 ①丸岡 響（由布市） 32分49秒 ②甲斐勇治（竹田市・九電工竹田） ③久保雄平（大分市） ◆一般女性 ①朝長菜津美（長崎県） 44分29秒 ②カーデイフ・エリン（別府市） ③鍋嶋美由紀（大分市） ⑥後藤眞由美（竹田市・豊後大野市立三重第一小学校） ◆高校生男子 ①甲斐聡一郎（宮崎県） 34分13秒 ②佐藤拓哉（別府市） ③安部 将太（別府市）

◆遠来賞 中西 敏夫（北海道伊達市） ※スペースの都合で、3位までの入賞者を掲載しております。詳しくはホームページ（http://www.city.taketa.ota.jp E-mail taketa@city.taketa.lg.jp）を参照ください。

TOP運動を基軸とした

メリハリのある個性的な政策を展開します。

平成23年度竹田市一般会計の概要

本市は、「陳情型から政策立案型へ」と変化を遂げつつある国の助成指針を好機と捉え、昨年引き続き、竹田らしい施策の実現「TOP運動」を基軸とした平成23年度の当初予算を編成しました。

その概要をお知らせします。

TOP運動の推進

TOP懇談会の開催や地域づくりに関連した従来の単独補助事業に加え、新たに認定農業者や特定農業法人への農地利用集積に対する助成や肉用牛飼養農家の新たな肥育経営に対する助成を行います。

また、椎茸とキクラゲの種駒購入に対する助成や有害鳥獣被害防止対策に係る助成を継続します。

竹田市政策審議官や同事務所長事業など先駆的情報発信機能を充実させるとともにエココミュニケーション構想の実現に向けた都市計画マスタープランと連動した文化財保護事業や岡城保存整備、岡城の公有化を進めます。

竹田総合学院(TSG)事業の構築に向け、ネットワーク形成や情報取得に取り組みます。

高齢者福祉の充実

高齢者をはじめとする交通弱者を守るため、引き続きコミュニティバスの運行に係る助成を行います。

敬老会開催に係る助成や高齢者等の相談窓口の開設、緊急通報装置の設置なども引き続き行うこととあわせ、はり・きゅう施設利用助成金の対象年齢を65歳に引き下げ、高齢者の健康増進をめざします。

また、ホームヘルパー養成講座を開催し、介護現場での人手不足解消にむけた支援事業を行います。

地域学の推進

川端康成記念講演会や竹田学地域文化フォーラム、由学館セミナーの開催を通じ、地域学を深めます。

初代藩主が没して平成24年で400年を迎えることから、岡

藩城下町400年プレイベントを開催し、当年への意識喚起を促します。

ローカル外交の展開

嚶鳴フォーラムへの参加や国際姉妹都市ドイツバートクロツインゲン市の温泉発掘100周年記念公式訪問を行い、交流を深めます。

さらに、廣瀬武夫を縁としたロシアや中国との新たな交流をも視野に入れた竹田にしかできないローカル外交を展開することと、国際都市としての新たな飛躍をめざします。

大学交流

大学との相互交流を通じ「大学のないまちに学生があふれ、学び、集うまち」の実現を図ります。

また、芸短大の竹田キャンパスや旧双城中の校舎を活用した別府大学との交流を深化させます。日韓短編映画祭の開催へ昨年に続き助成を行い、大分大学医学部の地域医療実習の受け皿となることで新たな形の交流も深

めます。



農村回帰の取組強化

昨年設立した農村回帰支援センターの事業を飛躍的に推進します。農村回帰サポーターの育成や田舎暮らし体験ツアーを実施、空き家情報を充実させ、移住相談会や空き家改修に対する助成事業に加え、移住者用の住宅を4戸建設します。

また、企業誘致も推進し、用地取得や投資額、新規雇用に対する助成金を交付します。

地域医療の充実

休日夜間診療や救急医療に係る委託や助成に加え、全国的にも例の少ない予防接種や妊婦健診に対する助成を行います。

子育て支援

少子化を食い止めるため、引

き続き子ども手当の支給や医療費の助成事業、放課後児童の健全育成事業、地域子育てサポーター事業、児童館運営事業を行います。特別会計で運営することも診療所についても、その充実を図ります。



生活環境整備

8億8千万円以上をかけ、リサイクルセンターの建設事業に着手します。

また、道路の維持補修や災害防止事業、市道宮原米賀線の新設改良により生活道路の整備を進めます。

従来の急傾斜地崩壊対策事業や街なみ環境整備に係る交付金事業に加え、市街地の導水路を整備し、流量の調整を図る事業や都市下水路から稲葉川への排水をスムーズにするための改修事業など新規の事業も行い、生活環境の改善を図ります。

～平成23年竹田市議会第1回定例会で当初予算等が議決～

竹田市行政の屋台骨が確定

3月3日に開会した市議会は、予算案、人事案、条例案など60件の提出議案が可決され、3月24日に閉会しました。会期中、前頁で説明した一般会計や国保、介護保険、久住高原荘を運営する特別会計等の平成23年度当初予算に加え、その他市民生活に重要な議案が慎重に審議されました。平成23年度を迎え、旧年度の補正予算をも含む第1回定例会で議決された内容をお知らせします。

●平成22年度の補正予算(7議案)

旧年度の一般会計をはじめとする7会計に係る補正予算が可決されました。

歳入歳出ともに5億円余りを減額計上した一般会計の総額は169億9,834万円。災害復旧費▲4億7,000万円余りなど事業費縮小に伴う減額が主な要因ですが、健全財政のため各種基金の積立を行い、あわせ図書購入費、退職手当等の増額を行いました。

●各種委員会委員人事(2議案)

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の後任に秦栄一氏、後藤茂春氏、芋生徳男氏を選任、また前委員の辞任に伴う公平委員会委員の後任に古荘良介氏を選任し、議会の同意を得ました。

●条例の制定・一部改正(13議案)

市職員の自己啓発等休業制度の導入に伴う条例とすごう農産加工所を新たに設置し、既存の加工所を含む「条例の一本化」のための条例を制定しました。

また条例の一部改正については、市職員の給与構造の見直しや給料減額に係る職員の給与の特例に関する条例や、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施設の助成対象年齢引下げに係る関係条例、直入幼稚園への給食導入に係る給食費徴収条例等、11の条例の一部改正を行いました。

●一般関連(24議案)

◇県内9市町との間で開始している「おおいた広域窓口サービス」へ新たに佐伯市と豊後大野市が参加するため、事務委託に関する地方自治法上の議決を求めたものです。

◇指定管理者の指定に関するもの(17件)

次の施設の指定管理者の指定が議決されました。指定期間は全て平成23年4月1日～平成28年3月31日までの5年間です。

施設の名称	指定団体
恵良運動広場及び附帯施設	恵良自治会
小規模乾燥調整施設	小畑ライスセンター組合
荻農産加工所	荻町農産物加工協議会
久住さやか農産加工所	久住さやか農産加工所管理組合
あじさい農産加工所	刈小野農産加工グループあじさい
すごう農産加工所	協同組合すごう加工
ふれあい駐車場	竹田市商店街連合会
竹田駅前駐車場	竹田市商店街連合会
中島公園河川プール施設	河宇田自治会
七里田温泉館	七里田温泉組合
久住高原ふれあい観光館	(有)久住ふれあい会館
スカイパークあざみ台	(有)あざみ台展望所
長湯おんせん市場	長湯おんせん市場運営協議会
直入水の駅おづる	直入水の駅おづる運営協議会
白丹温泉館	白丹健康と福祉を推進する会
久住スポーツ研修センター	(有)久住スポーツ研修センター
久住さやか	社会福祉法人かぼちゃの国



←久住さやか

◇直入町の長湯朝地線が市道路線に認定されました。

◇公用車の事故に関し、和解及び損害賠償額を定めることが議決されました。(2件)

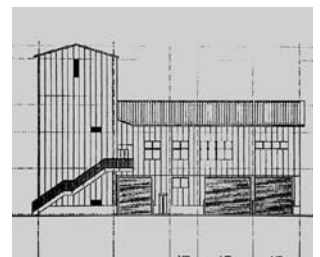
◇リサイクルセンター建設工事請負契約の締結が議決されました。

契約金額 654,150,000円

契約相手

新明和工業株式会社

九州支店



↑リサイクルセンター立面図

◇市の普通財産を地ビール製造、販売等行う施設として、別府市の株式会社昭和園に無償で10年間貸し付けることが議決されました。

億7,350万円

陳情型から政策提案型の行政へ 平成23年度のまちづくりスタート!

市の自主財源は約17%

義務的経費は約5割

一般会計当初予算は、総額178億7千350万円で、平成22年度の当初予算額164億680万と比較すると、8.9%の増額となりました。

地方分権型社会の実現に向けた基礎自治体の自立をめざし、市民とのあつたか対話行政を通じて、TOP運動で展開されているプロジェクトに取り組むための予算編成となっています。

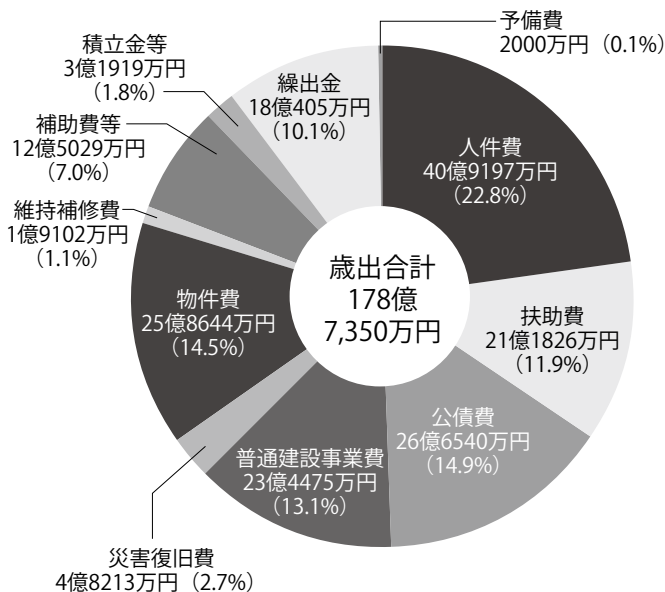
歳入は、税収や使用料などの「自主財源」と国や県の基準に基づき交付される「依存財源」に分けられます。自主財源が多いほど、市独自のサービスを行うなど行政活動の自主性と安定性が確保されます。竹田市の自主財源は、全体の17.3%で、多くを依存財源が占めています。また、歳入の半分を占める地方交付税は、平成22年度の水準で確保されています。

一方、財源不足を補うため財政調整基金から2億5千467万円の繰入を行うなど、財政基盤の弱さを示しています。

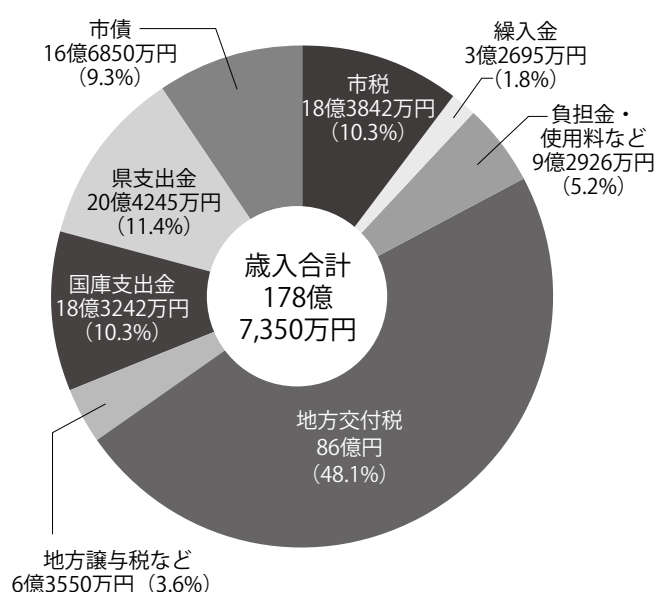
歳出は、支払いが義務づけられている人件費、扶助費、公債費といった「義務的経費」と行政水準の向上にかかる経費の「投資的経費」があります。竹田市の「義務的経費」は、扶助費が大幅に増えている状況です。この「義務的経費」は、全体の約50%を占め、硬直した財政状況を示しています。また、公共施設の整備を目的とした普通建設費は、リサイクルセンターの建設に伴い、大幅な増額となっています。

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の収入を特定の支出に充て、一般会計と区別する必要があります。竹田市には12の特別会計と水道事業会計があります。厳しい財政状況ではありませんが、平成23年度も財政健全化の確保に努めながら、市民の皆様の一歩に心える財政運営を行って参ります。

一般会計歳出



一般会計歳入



※ () 内は構成比

一般会計当初 予算総額は

178

重点事業

地域医療の充実

- ・予防接種と妊婦健診の拡充
- ・休日夜間診療委託事業

温泉療養保健制度

- ・予防医学と温泉療養

大学交流事業

- ・相互協力協定大学との連携

ローカル外交の展開

- ・ドイツ姉妹都市との交流
- ・先人の思いを今に
(廣瀬武夫・瀧廉太郎)

地域学の推進

- ・川端康成記念講演会
- ・竹田学地域文化フォーラム

「TOP運動」の展開

- ・TOP懇談会
- ・TOPミーティングの開催

TSG（竹田総合学院）

- ・地域住民が自ら学び、ふれあう機会の創造と人材育成
- ・起業・就労支援

高齢化社会への対応

- ・コミュニティバス
- ・乗合自動車
- ・はり・きゅう助成
- ・在宅介護支援事業

農村回帰支援

- ・農村回帰サポーターの育成
- ・田舎暮らし体験ツアー
- ・定住促進住宅建設事業

エコミュージアム構想

- ・岡城保存整備と文化財保護事業
- ・都市計画マスタープラン策定

情報発信と政策立案支援

- ・竹田市政策審議官
- ・竹田市事務所長

地域経済活性化

- ・農業後継者対策事業
- ・企業誘致推進事業

プレ岡藩城下町400年

- ・岡藩城下町たけた博
- ・城下町再発見市民モニターツアー

生活環境の整備

- ・リサイクルセンター建設事業

用語の説明

●一般会計と特別会計

一般会計は、市民の暮らしにもっとも深い関わりがある会計で、市が行う仕事の基本的な経費を経理する会計です。特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の収入を特定の支出に充て、一般会計と区別して経理する会計です。

●水道事業会計

地方公営企業法に基づいた独立採算の公営企業で、竹田地域の一部に上水道を供給しています。

●財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するための積立金。

●公債費

市の借金などを償還するための経費。

●扶助費

社会保障制度の一環として、高齢者、児童、障がい者などに対して行う支援のための経費。

●繰入金

市の他の会計や基金（貯金）からの繰入金で、主なものに財政調整基金を取り崩し、一般会計に繰り入れる財政調整基金繰入金があります。

●地方交付税

市町村によって生じている税収入の格差を是正し、一定の行政水準を保つために国から交付される交付金で、標準的な行政を行うために財源を保障するために交付される普通交付税と、特殊事情によって生じた財政需要を補うための特別交付税があります。

●地方譲与税

国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金。

●国庫支出金・県支出金

市が行なう事務事業に、国（県）から経費の一部又は全部として市町村に給付されるお金。

●市債

公共事業の財源として国や銀行などから借りるお金。

特別会計予算

特別会計名	当初予算額
同和对策事業特別会計	149万円
竹田市立こども診療所特別会計	6,177万円
畜産開発事業特別会計	4,455万円
長湯温泉療養文化館特別会計	4,923万円
国民健康保険特別会計	38億8,073万円
後期高齢者医療特別会計	3億6,738万円
介護保険特別会計	32億3,862万円
簡易水道事業特別会計	2億2,980万円
農業集落排水事業特別会計	1億2,592万円
浄化槽整備推進事業特別会計	2億1,506万円
国民宿舎久住高原荘事業特別会計	3億2,995万円
国民宿舎直入荘事業特別会計	8,032万円

水道事業会計予算

区分	当初予算額
収益的収入(水道料金など)	1億8,745万円
収益的支出(水道水供給に要する費用)	1億7,907万円
資本的収入(工事負担金など)	1,389万円
資本的支出(建設改良費や借入金の返済)	1億123万円

平成23年度竹田市人事異動

竹田市では、平成23年4月1日付け人事異動を行いました。

平成23年度の人事異動にあたっては、定員管理計画に基づいた職員数の削減を行いつつ、「基礎自治体の自立」と周辺地域の振興策の強化を念頭に、適材適所の人事配置、人員配置に努めました。

●平成23年度の行政組織の改称により、平成22年度の旧所属は平成23年度新所属の、教育委員会総務課を教育委員会教育総務課に読み替えてください。

●市役所本庁内の生涯学習課は、竹田市民文化館に事務室を変更し、生涯学習課、竹田市中央公民館及び竹田市文化会館の事務事業を一体的に取扱うよう変更しました。

【平成23年4月1日付（内は旧役職）】

■課長

▽総務課長兼行政改革推進室長（企画情報課長） 児玉龍明▽企画情報課長（環境衛生課長） 釘宮恒憲▽財政課長（財政課長補佐兼財政係長） 後藤俊治▽税務課長（健康増進課長） 敷島洋一▽市民課長（竹田市中央学校給食共同調理場長兼久住学校給食共同調理場長兼直入学校給食共同調理場長） 甲斐政徳▽保険課長兼地域包括支援センター長（財政課長 後藤英一▽健康増進課長（農業委員会事務局長） 吉野富士男▽環境衛生課長（荻支所産業建設課長） 吉野修一▽農政課兼畜産振興室長（畜産振興室長補佐） 菊池仁志▽農政課兼畜産係長（農政課長補佐兼畜産係長） 大塚幸憲▽入札・検査課兼検査係長（入札・検査課長補佐兼検査係長） 安達豊▽荻支所長（保険課長兼地域包括支援センター長） 佐伯次人▽

荻支所いきいき市民課長兼会計課分室長（併）選挙管理委員会荻支局長（総務課長補佐兼行政係長） 佐藤洋介▽荻支所産業建設課長（生涯学習課長補佐兼生涯学習係長） 本田隆憲▽久住支所長（久住支所いきいき市民課長兼会計課久住分室長（併）選挙管理委員会久住支局長） 工藤久憲▽久住支所いきいき市民課長兼会計課久住分室長（併）選挙管理委員会久住支局長（荻支所いきいき市民課長兼会計課荻分室長（併）選挙管理委員会荻支局長） 佐藤元比古▽久住支所産業建設課長（農政課兼畜産振興室長） 渡辺英治▽直入支所長（市民課長） 清田武重▽直入支所産業建設課兼事務（直入支所産業建設課長補佐） 近藤寿民▽学校教育課長（大分県教育委員会） 畑山誠二▽生涯学習課長兼竹田市中央公民館長兼竹田市文化館義美記念館長（竹田市中央公民館長兼竹田市文化館長兼義美記念館長） 藤原誠一▽生涯学習課兼竹田市中央公民館次長兼竹田市文化館事務兼佐藤義美記念館事務兼B&G直入海洋センター所長（福祉事務所次長兼管理係長） 柏木良知▽竹田市中央学校給食共同調理場長兼久住学校給食共同調理場長兼直入学校給食共同調理場長（久住支所産業建設課長） 後藤昭一▽農業委員会事務局長（生涯学習課長兼B&G直入海洋センター所長 阿南靖弘▽大分県教育委員会（学校教育課長） 島田郁郎

■課長補佐

▽総務課長補佐兼行政係長（総務課職員係長） 後藤和重▽総務課長補佐兼秘書広報係長（保険課長補佐兼介護保険係長） 後藤新一▽財政課長補佐兼財政係長（入札・検査

課庶務係長） 吉野文浩▽保険課長補佐兼国保・高齢者医療係長（保険課国保・高齢者医療係長） 菊池享子▽環境衛生課長補佐兼環境衛生係長（生涯学習課長補佐兼荻教育係長兼荻公民館長兼柏原公民館長兼荻みらい館長） 工藤尚一▽入札・同和对策課長補佐兼入札・同和对策係長（竹田市立図書館次長） 伊藤博文▽福祉事務所次長兼管理係長（財政課長補佐兼管財係長） 大谷恭一▽福祉事務所次長兼生活保護係長（農政課長補佐兼農業振興係長） 吉野憲之▽養護老人ホーム南山荘次長兼管理係長（生涯学習課長補佐兼久住教育係長兼久住公民館長兼久住学校給食共同調理場次長） 大塚斎昭▽農政課長補佐兼農業振興係長（荻支所産業建設課係長） 羽田野泰弘▽農政課長補佐兼林業振興係長（環境衛生課長補佐兼生活排水係長） 吉良喜久男▽畜産振興室長補佐（畜産振興室係長） 古庄弘幸▽建設課長補佐兼庶務係長（建設課庶務係長） 渡辺一宏▽建設課長補佐兼ガム・高規格対策係長（教育委員会総務課長補佐兼施設管理係長） 志賀清隆▽入札・検査課長補佐兼庶務係長（直入支所いきいき市民課係長） 工藤厚己▽荻支所いきいき市民課長補佐（併）選挙管理委員会荻支局長次長（竹田市中央公民館次長兼文化会館次長） 阿南光記▽荻支所いきいき市民課長補佐（荻支所いきいき市民課係長） 山村孝二▽荻支所産業建設課長補佐（建設課長補佐兼ガム・高規格対策係長） 橋伸一▽久住支所いきいき市民課長補佐（併）選挙管理委員会久住支局長次長（農業委員会事務局次長兼農地係長） 志賀良雄▽久住支所産業建設課長補佐（農林整備課長補佐兼基盤整備係長） 大塚裕俊▽久住支所産業建設課長補佐（久住支所いきいき市民課長補佐） 飯田啓三▽学校教育課長補佐兼教育指導係長（荻支所いきいき市民課長補佐（併）

選挙管理委員会荻支局長次長） 森正治▽竹田幼稚園主幹兼主任教諭（竹田幼稚園主任教諭） 芳中恵子▽生涯学習課長補佐兼文化会館係長（竹田市中央学校給食共同調理場次長兼管理係長） 野村忠▽生涯学習課長補佐兼荻教育係長兼荻公民館長兼柏原公民館長兼荻みらい館長（総務課長補佐兼秘書広報係長） 倉原邦夫▽竹田市中央学校給食共同調理場次長兼管理係長（養護老人ホーム南山荘次長兼管理係長） 井上隆明▽竹田市立図書館次長（環境衛生課長補佐兼環境衛生係長） 上野寿雄▽選挙管理委員会事務局次長（併）監査事務局次長（併）竹田市公平委員会事務局次長（併）竹田市固定資産審査委員会書記（農政課長補佐兼林業振興係長） 荒巻英俊▽農業委員会事務局次長兼農地係長（選挙管理委員会事務局次長（併）監査事務局次長（併）竹田市公平委員会事務局職員（併）竹田市固定資産審査委員会書記） 峯田昌勝▽（派遣）特定非営利活動法人竹田市観光ツーリズム協会（商工観光商工観光係長） 工藤隆浩

■係長

▽総務課職員係長（行政改革推進室係長） 阿南秀則▽行政改革推進室係長（税務課） 大神正己▽財政課管財係長（福祉事務所生活保護係長） 堀勇進▽保険課介護保険係長（学校教育課教育指導係長） 広瀬文生▽健康増進課健康増進係長（企画情報課） 宮成公一郎▽健康増進課健康増進係主任保健師（荻いきいき市民課主任保健師） 渡辺由美子▽環境衛生課生活排水係長（環境衛生課） 吉野正臣▽荻保育所主任保育士（荻保育所） 堀留里子▽畜産振興室係長（久住支所産業建設課） 高司幸明▽農林整備課基盤整備係長（直入支所産業建設課係長） 安達敬一▽農林整備課地籍調査係長（荻支所いきいき市民課係長） 後藤美夫▽商工観光課

商工観光係長（生涯学習課） 工藤直樹▽直入支所産業建設課係長（久住支所産業建設課係長） 安藤信次▽教育総務課施設管理係長（農林整備課） 今澤盛治▽竹田幼稚園主任教諭（直入幼稚園主任教諭） 河野友子▽生涯学習課公民館・生涯学習係長（中央公民館係長） 後藤惟稔▽生涯学習課久住教育係長兼久住公民館長兼久住学校給食共同調理場次長（生涯学習課） 足立達哉

■一般

▽総務課（直入支所産業建設課） 工藤賢稔
▽総務課（財政課） 湖憲治▽企画情報課（農政課） 坂本大蔵▽企画情報課（議事事務局） 阿南裕彦▽企画情報課（直入支所産業建設課） 久米哲也▽企画情報課（秋支所いきいき市民課） 下田哲昭▽財政課（福祉事務所） 中島亜紀子▽税務課（水道課） 後藤いずみ
▽税務課（企画情報課） 山口浩輔▽税務課（保険課） 進堅大▽税務課（商工観光課） 牛尾公一▽税務課（福祉事務所） 鍵小野智哉▽市民課（直入支所いきいき市民課） 渡邊真由美▽市民課（総務課） 内柳雅浩▽保険課（生涯学習課） 津曲美香▽保険課（健康増進課） 渡辺法恵▽健康増進課（福祉事務所） 渡部綾▽健康増進課（保険課） 中里裕美▽福祉事務所（農林整備課） 上野多希子▽福祉事務所（健康増進課） 吉田まり子▽福祉事務所（農林整備課） 佐藤哲也▽福祉事務所（税務課） 宮原亨▽竹田保育所（白丹保育所） 吉野由希子▽竹田保育所（養護老人ホーム南山荘） 菅里美▽荻保育所（竹田保育所） 藤川佳奈子▽荻保育所（竹田小学校） 阿南美恵子▽白丹保育所（荻保育所） 宮本好子▽養護老人ホーム南山荘（竹田保育所） 山村明子▽農政課（久住支所産業建設課） 足達満▽農政課（税務課） 小野真吾▽農林整備課（建設課） 古澤眞治▽農林整備課（久住支所産業建設課） 渡辺長武▽農

林整備課（教育委員会総務課） 鳴川晴美▽建設課（ケーブルネットワークセンター） 渡辺康公▽建設課（総務課付（大分県派遣） 井手勝隆▽建設課（農林整備課） 柳井裕次▽会計課（福祉事務所） 後藤千鶴▽会計課（市民課） 橋爪美紀▽荻支所いきいき市民課（税務課） 井上清志▽荻支所いきいき市民課（健康増進課） 伊藤さおり▽久住支所産業建設課（建設課） 工藤松男▽直入支所いきいき市民課（保険課） 竹下有香▽直入支所産業建設課（市民課） 高山崇▽直入支所産業建設課（税務課） 峯野憲司▽教育総務課（企画情報課） 佐藤緑恵▽直入幼稚園（竹田幼稚園） 大久保貴代美▽生涯学習課（財政課） 廣瀬恵三▽生涯学習課（税務課） 廣橋秀晃▽生涯学習課（企画情報課） 佐藤淳一▽議会事務局（建設課） 武内公司▽水道課（会計課） 井上千賀子▽大分県（総務課兼行政改革推進室） 二宮克彦

【平成23年3月31日付退職】

▽佐々木成二（総務課長兼行政改革推進室長）▽渡部清（税務課長）▽白石健一（荻支所長）▽内田賢一（久住支所長）▽志賀義治（直入支所長）▽本田二雄（環境衛生課長補佐兼衛生施設係長兼清掃施設係長）▽原田敏治（人権・同和对策課長補佐兼人権・同和对策係長）▽工藤清徳（農林整備課長補佐兼地籍調査係長）▽下藤由典（久住支所いきいき市民課長補佐）

【平成23年4月1日付新採用】

▽阿南克俊（建設課）▽佐藤直哉（保険課）▽伊東希（商工観光課）▽松田尚也（税務課）

竹田市消防本部・消防署人事異動

【平成23年4月1日付】（内は旧役職）
■消防本部・課長

▽消防長・消防司令長（消防本部次長兼庶務課長・消防司令） 児玉淳一▽消防本部次長兼警防課長・消防司令（消防署副署長兼久住分署長・消防司令） 首藤法文▽消防本部庶務課長・消防司令（消防本部庶務課長補佐兼庶務係長・消防司令） 後藤清

■消防本部・課長補佐

▽庶務課長補佐兼庶務係長・消防司令（庶務課長補佐兼警防係長・消防司令） 麻生章治▽警防課長補佐兼警防係長・消防司令（警防課長補佐兼警防係長・消防司令） 後藤茂▽警防課長補佐兼警防係長・消防司令（警防課長補佐兼警防係長・消防司令） 倉橋英信▽警防課長補佐兼警防係長・消防司令（消防署救助第一係長・消防司令） 下城広士▽庶務課長補佐兼警防係長・消防司令（庶務課長補佐兼警防係長・消防司令） 山村俊治

■消防本部・係長

▽庶務課消防団係長・消防司令補（消防署救助第一係長兼消防本部庶務課付係長・消防司令補） 金丸正三

■消防本部・一般

▽庶務課消防団係長・消防士長（庶務課消防団係長・消防副士長） 井野隆一

■消防署・課長

▽消防署長・消防司令（消防署副署長兼当直司令（救助）・消防司令） 那須充▽消防署副署長・消防司令（消防署副署長兼当直司令（消防・指導・調査・整備）・消防司令） 田北栄治▽消防署当直司令（予防指導・通信） 消防司令（消防署参事兼当直司令（通信）兼通信係長・消防司令） 佐藤幸人▽久住分署長・消防司令（消防署参事兼当直司令（救助）・消防司令） 田北久己▽消防署当直司令（消防・指導・調査・整備） 消防司令（久住分署長代理兼消防係長・消防司令） 高橋末文▽消防署当直司令（救助・

救助） 消防司令（当直副司令（消防・指導・調査・整備）兼裝備係長・消防司令） 齊藤正憲

■消防署・課長補佐

▽当直副司令（予防指導・通信）兼通信係長・消防司令（消防本部警防課長補佐兼警防係長・消防司令補） 大塚義徳▽久住分署副分署長兼消防・指導係長・消防司令（久住分署長代理兼指導係長・消防司令補） 木田寛▽当直副司令（消防・指導・整備・調査）兼消防・指導・裝備係長・消防司令補（消防係長兼指導係長兼消防本部庶務課付係長・消防司令補） 工藤敦▽当直副司令（救助・救助）兼救助係長・消防司令補（救助第二係長・消防司令補） 工藤忠孝

■消防署・係長

▽救急係長・消防司令補（救急第二係長・消防司令補） 佐藤浩和

■消防署・一般

▽消防署・消防士長（久住分署・消防士長） 内那洋介▽消防署・消防士長（消防本部庶務課付・消防副士長） 工藤幸司▽久住分署・消防副士長（消防署・消防副士長） 阿部晋一郎▽久住分署・消防副士長（消防署・消防士） 麻生拓児▽消防署・消防士（久住分署・消防士） 足立圭太▽久住分署・消防士（消防署・消防士） 川口遼

【平成23年3月31日付退職】

▽工藤克美（消防長・消防司令長）▽浅倉彰一（消防署長兼消防本部警防課長・消防司令）▽佐藤一喜（消防署副署長兼当直司令（予防指導）・消防司令）

【平成23年4月1日付新採用】

▽吉野隆史（消防本部庶務課付・消防士）▽内田佳佑（消防本部庶務課付・消防士）▽前田翔（消防本部庶務課付・消防士）



その時、竹田市民は思った――。

「姉妹都市仙台市の力になりたい」

3月18日、仙台市支援隊員が出発。竹田米や飲料水、缶詰を満載したトラックと公用車に分乗した4人に託されたのは、義援金や救援物資だけではなく。冷え込みが厳しい当地に、暖かな心を届ける使命に燃えた隊員たちが現地目にしたものは…。

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様のご無事と1日も早い復興をお祈りいたしております。

竹田市

東北地方太平洋沖地震の被災地、特に当市と音楽姉妹都市として交流を深めている仙台市へ向け、救援物資と竹田市民の『真心』を満載し、3月18日出発した支援隊は、もうひとつの音楽姉妹都市中野市の支援隊と合流後、19日の深夜に目的地に到着しました。

積み降ろし作業が終了したのは、20日未明。仙台市庁舎で、僅かな仮眠を取った後、支援隊（両市の職員）は、志賀秀一竹田市仙台事務所長も立ち合い、午前9時過ぎに仙台市の伊藤敬幹副市長と面会。竹田市からの義援金及び救援物資の目録、J Aグループ大分の救援物資の目録

録、首藤市長からの親書を副市長に手渡しました。竹田市が、公共施設を利用して最大約400名の避難者を受け入れる用意があることなど、具体的な支援策を検討することを伝えました。任務を完了し、22日の早朝、無事の帰還を果たしました。

仙台市第1次支援隊として

隊長 後藤芳彦（企画情報課）

「仙台市の職員に案内してもらい太平洋沿岸の被害が大きかった地区に入ることができた。上空からの写真で見る光景とは別世界。想像を絶する被害状況に言葉を失ってしまった。まさに地獄絵図。復興は市や県で成し遂げられるレベルではなく、国の全面的な支援が不可欠に感じた。

市内では時折起こる余震以外に被害を実感できるものがあったため、果たして竹田からここまで救援物資を運ぶ必要があったのか、という思いもあつ



↑長野県中野市の支援隊と合流



↑物資の積み降ろし作業



↑仙台市の関係者と面会



←工藤隊長、長野幸男副士長、足達大輔副士長、麻生拓児消防士、工藤昭和消防士〔写真左から〕

緊急消防援助隊が活動を終え帰還

東北地方太平洋沖地震に係る緊急消防援助隊大分県隊の1隊として、3月14日に出勤した工藤忠孝司令補を隊長とする竹田市消防本部の隊員5人が岩手県釜石市での『人命捜索並びに救助活動』を終え、22日朝、竹田市に帰還しました。

大分県隊17隊72人は大阪府隊や愛媛県隊と合同で活動を展開し、12人の遺体を確認するという非情の任務を完遂しました。

「現地の惨状は目を覆うばかりで、被災者に声をかけるのもつらい中で、徒歩や自転車で家族を捜して回る人々から、逆に励ましや感謝の言葉をいただいた。能力の限界を感じ、もっと知識を高め、訓練に取り組もうと思う」

隊員の口から聞かされた無念さ、過酷な9日間は、彼らの糧となり、今後の任務に大きなプラスとなるに違いありません。

東北地方太平洋沖地震への義援金について（お願い）

竹田市は、竹田市議会、竹田市自治会連合会、竹田市社会福祉協議会との緊急会議を受け、『東北地方太平洋沖地震に係る被災地での救命活動や今後の復興に役立てていただくため』、市内各所に義援金箱を設置いたしました。

集められた募金は、姉妹都市仙台市をはじめとする被災地に送金いたします。

なお、食料や衣類などの義援物資については、被災地側の受け入れ態勢が整っていないため、受け付けておりません。

情勢が変わり次第、あらためてお知らせします。市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

◆義援金箱の設置場所

【行政機関】 市役所本庁市民課・各支所いきいき市民課・中央公民館及び各公民館・白丹連絡所・都野連絡所

【福祉機関】 竹田市社会福祉協議会・同各支所

【観光及び商業施設】 竹田温泉花水月・荻の里温泉・温泉療養文化館御前湯・国民宿舎久住高原荘及び直入荘・道の駅竹田及びすごう・農村商社わかばの市内アンテナショップ・水の駅おづる・おんせん市場

【医療機関】 竹田市立こども診療所

●お問い合わせ 竹田市総務課 ☎ 0974-63-1111（内線211）

過去に竹田市は、集中豪雨による大水害を経験しており、当時、全国から義援金や物資等を多数いただいております。
市民の皆様のご協力をお願いします。

助け合い、支え合い、 今こそ、恩返しの時

たが、被災地の現状や学校に多くの方が避難している状況を目の当たりにして思いが一変。今回の支援隊の持つ意義の大きさを改めて感じた。避難所生活を送っている方の人数を考えると竹田市からの救援物資は十分な量とは言えないが、必ず仙台市復興の力になることを実感した」



竹田市のホームページ「こんにちはは市長です」
(URL) <http://www.city.taketa.oita.jp/mayor/>

← 3月14日月曜日 9:00
大震災にいかにか手を差し伸べるかについて緊急会議を開催

『東北地方で大地震が発生』というニュースが飛び込んできたのは、すべての日程が終了した直後でした。テレビの映像を見ながら、これはただごとではないと直感。すぐに音楽姉妹都市である仙台市の竹田事務所長である志賀秀一さんに電話を入れたのです。地震発生直後だったからか、奇跡的に携帯電話がつながり、ご本人と話すことができたのですが、「事務所はぐちゃぐちゃで、いま島谷と机の下にもぐっているところですよ。大変なことになりました。こんなすごい経験は初めてです」と志賀さん。何はともあれ、無事を喜んで

3月11日の夜明け。いつものように阿修羅像と脇に添えてある一刀彫の観音様に灯りをともそうとして、手が強張ったのでした。地震でもなければ強風が吹きこんできたわけでもないのに、静かな寝室に安置されている観音様がうつ伏せに倒れていたからです。わずか10センチほど、ヒノキの一刀彫で、2年前に縁あって舞い込まれたのですが、品格の高い『氣』の漂いに手を合わせずにはいられないほどのお姿なのです。その観音像がわけもなく倒伏しているのですから穏やかでいれるはずはありません。心揺れるままに部屋を後にして出勤したのでした。

その日は3月定例会の最中。早朝に開催された竹田市食生活改善グループしらゆり会の総会に出席して、そのまま議場に直行し、一般質問の日程を消化しておりました。

『東北地方で大地震が発生』というニュースが飛び込んできたのは、すべての日程が終了した直後でした。テレビの映像を見ながら、これはただごとではないと直感。すぐに音楽姉妹都市である仙台市の竹田事務所長である志賀秀一さんに電話を入れたのです。地震発生直後だったからか、奇跡的に携帯電話がつながり、ご本人と話すことができたのですが、「事務所はぐちゃぐちゃで、いま島谷と机の下にもぐっているところですよ。大変なことになりました。こんなすごい経験は初めてです」と志賀さん。何はともあれ、無事を喜んで

のですが、その後の阿鼻叫喚はご存知のとおりです。東北は仙台市をはじめ、嚶鳴フォーラムに参加している釜石市、サンマとカボスのコラボレーションで交流の始まった大船渡市などを含め、個人的にも多くの地域との交流があり、多くの友人たちがいます。原発のある東通村の越善村長、世界遺産登録を目指す平泉町の菅原町長や八重樫さんらの顔が浮かんできました。みんな無事であつてほしいと願うばかりでしたが、連絡が取れたのは八重樫さん一人でありました。

水害で修羅場を味わっている竹田市ですから、被災地の苦しみや悲しみは痛いほど感じています。すぐに議員さんや多くの市民の皆さんから、「早く救済の手を差し伸べてほしい」との要請が寄せられました。消防本部の災害救助援助隊の派遣、自治体支援のための職員派遣、そして同時に被災して生活できない人たちを迎え入れる『災害疎開』の受け皿づくりにも取り組んでいるところです。

地震発生から2日後には、正副議長、自治会長会長、社会福祉協議会会長を交え、災害対応の確認と義援金を募る作業に着手。奥山恵美子仙台市長からの状況報告をお伝えし、一日も早い復興を願ったのです。

11日早朝の観音様。東日本の未曾有の大地震を遠い地にありながら小さな体で予知し、告げようとしたのかもかもしれません。

有由縁

市長コラム
〈第21回〉



『3月11日』の夜明け

観世音菩薩のお告げ

有由縁(ゆうゆうえん)
文豪川端康成が晩年、よく揮毫したのが『有由縁』。人との出会いや物事との接点が生まれるのは、偶然ではなく、それなりの理由が働くからであるという意味。
昭和27年、取材旅行を兼ね、友人高田力蔵の案内で竹田市を訪れ、竹田高校で講演した川端との縁は、まさに目には見えない力だけれど、神の配剤としか思えない。

広がれ！支援の輪

竹田南高等学校の生徒会を中心とする皆さんが、東北地方太平洋沖地震の被災者のために3月15日から18日までの4日間放課後を活用して、豊後竹田駅前や拝田原の商業施設など市内6か所で募金活動を行いました。

集められた義援金60万円は竹田市を通じて、被災地へ届けられる予定です。温かな支援の輪が広がるこの光景は、「必ずやこの難局を克服してみせる」日本人の魂の揺さぶりを感じさせてくれるものでした。



↑「この活動は生徒会、そして生徒どちらからもなく自発的に発生した行為で、とにかく何かしなければならぬとの気持ちが強まった結果、始まりました」(多森力生徒会長)

監査公表

竹田市監査委員

村上 長生

同

中村 憲史

地方自治法第199条の規定に基づき、平成22年11月から平成23年1月までの各月において、市長部局及び各委員会等の監査を実施したもので、その結果をお知らせします。

福祉事務所

保育料並びに災害援助資金の収納対策について、引き続き取組まれるよう要望する。

取扱い文書は、公開するもの、非公開とするものの区分を徹底し、個人情報保護に努められるよう要望する。

環境衛生課

高齢者世帯に係るごみの収集対策について、引き続き検討されるよう要望する。

集落排水処理施設の加入を支所と連携して推進するよう要望する。

養護老人ホーム南山荘

施設の老朽化に伴う補修や建設に向けた取組み並びに今後の運営方針について検討されるよう要望する。

健康増進課・こども診療所

市民の健康増進を目的とした事業に引き続き取組まれるよう要望する。

入札・検査課

入札については、公平、透明性を図るとともに、検査業務にあたっては、指導を含めて取組まれるよう要望する。

税務課

差押えをはじめとする滞納整理の手法を再検討されて、収納率の向上に努めるよう要望する。

保険課

保険税の仕組みを理解してもらったとともに各種健康事業を推進して医療費の適正化に引き続き努められるよう要望する。

商工観光課・花水月

補助事業を活用して、商業や観光の浮揚につながる魅力ある事業展開に引き続き努められるよう要望する。

花水月については、各種催事に連携したイベントを企画して、事業の効果が上がるよう最善の努力を要望する。

議会議務局

政務調査費については、使途基準により適正な事務処理をされるよう要望する。

選挙管理委員会

個人情報に関する書類の取り扱いには、十分配慮されるよう要望する。

選挙ごとに投・開票事務結果の検証を行い、事務の改善を行うよう要望する。

農業委員会事務局

農地の集積促進並びに集落営農の組織化に、引き続き取組まれるよう要望する。

市政策との関連性を持たせた事業の展開を要望する。

教育委員会

総務課・学校教育課

生涯学習課・支所教育係

生涯学習事業並びに社会体育事業について、関係課や分館とも連携して市民の要望に沿う取組みをされるよう要望する。

生涯学習課・支所教育係

児童・生徒が相談できる環境づくりに努めていただくよう要望する。小学校及び中学校の統廃合並びに今後の教育方針について、引き続き検討していただくよう要望する。

文化財課・歴史資料館
文化財保護の全体的なビジョンでの岡城保存修理事業をはじめ、事業ごとの検証、評価を行うとともに完成後の公開等の活用計画を策定するよう要望する。

文化及び歴史資料等を後世に残すためにも、管理・保存について引き続き最善の取組みをされることにも、美術品の購入にあたっては、購入の意図及び活用を検討して魅力ある資料館づくりを取組まれるよう要望する。

生涯学習課・支所教育係
生涯学習事業並びに社会体育事業について、関係課や分館とも連携して市民の要望に沿う取組みをされるよう要望する。

支所教育係については、地域活動拠点として市民の福祉向上の活動の取組みをされるよう要望する。

中央公民館・文化会館
子供から高齢者までの幅広い地域活動を公民館と分館が連携して、引き続き積極的に取組まれるよう要望する。

自主事業の積極的な取組みについて引き続き対応されるよう要望する。

竹田雑感

東京大学景観研究室 修士課程1年 高柳 誠也

景観研究の立場から (16)

景観研究室に所属しているくらいなので、いろいろな街を訪れるのが好きだ。街に着いたらまずはひたすら歩き回ってみることにしている。というのも歩き回つてみるとガイドブックや観光案内からは伝わってこないまちの雰囲気や空気といったものを感ずることが出来るからだ。

てきれいだな、すてきな風景だなというだけではない、しみじみとさせる何かがあることが大切なのだ。その「何か」は上手く言語化することが出来ない。でも、言葉にすると嘘っぽくなるので言語化しなくてもいいと思っている。

竹田に初めて訪れた日も、城下町をひたすら歩き回った。そこで感じたのは城下町の魅力は単に岡城や広瀬神社、愛染堂があること、昔ながらの街路が残っていることというような要素の足し算ではないということ。そういう要素もありつつ、それらを包み込むまちの雰囲気や空気といったものが魅力的に感じただけだと思ふ。

私たちはそれを「情感がある」という言葉で表現することにした。「竹田には情感があるよなあ」

「城下町をもじって情感町ってのもいいじゃないか」といった具合に。

「情感」という言葉を辞書で引くと「物事に接した時に心にわき起こる感情。また、人の心に訴えるような、しみじみとした感じ」と書かれている。単に見

歴史が映し出されていた。時間が経過するにつれ、まちなも変わっていく。そうした中で時間が経っても変わらないものを大切にしていきたい。ナイーヴすぎるかもしれないが、情感のある風景を丁寧に見つけて、それらを時間的にも空間的にもつなげていくことが将来につながっていくと思っている。



↑竹田のPRをお願いします！

車いすのアスリート 『竹田特命大使』に！

3月17日、シドニーパラリンピック800名、銀メダリスト、アテネパラリンピック800名、銅メダリストの廣道純さん（大分市在住・37歳）が、竹田市の魅力を多くの人に伝えていただく『竹田特命大使』に任命されました。

廣道さんは「竹田はとても馴染み深い場所です。先ずは僕の大好きな温泉をもっと広め、アスリート仲間には、夏場久住で走り込めば、涼しくて強くなる坂がいっぱいあると、全国に広めたいと思います」と話してくれました。



救援物資と善意の心を被災地へ

竹田市は、3月18日から25日まで東北地方太平洋沖地震への救援物資の受付を竹田市第2庁舎及び各支所で行いました。水や使い捨てカイロ、紙おむつなど指定された物資(10種類)を被災地に送る活動に多くの市民の皆様のご協力をいただきました。

また、受付事務に対しても竹田高校や久住中学校の生徒のボランティア支援をいただきました。(写真は竹田高校生の受付の様子)



ソフトボール日本女子リーグを担当する審判員(全国で38人)に県内で初めて、市職員の松田尚也さん(竹田市ソフトボール協会・24歳)が選ばれました。

大学3年生時に第1種公認審判員の資格を取得。これまで国

県内初の審判員に

松田尚也さん
ソフトボール日本女子リーグ

ソフトボール日本女子リーグを担当する審判員(全国で38人)に県内で初めて、市職員の松田尚也さん(竹田市ソフトボール協会・24歳)が選ばれました。

大学3年生時に第1種公認審判員の資格を取得。これまで国

体や県内で開催された日本女子リーグで経験を重ねてきました。昨年12月に県協会の推薦を受け、日本女子リーグ担当審判員選考会に参加し、難関の学科と実技試験を突破しました。リーグ戦では、球審と1塁を担当する松田さんに意気込みを聞きました。

「先ずはジャッジの正確さで選手や観客から信頼されること。審判員として、より大きな大会を任せてもらえるように、これからも努力を続けていきたい。いよいよ開幕、ご活躍を期待しています。プレイボール!!」



防火パレードで『ひ・の・よ・う・じ・ん』

『春の全国火災予防運動』初日の3月1日、運動期間中の行事として、久住支所周辺で久住保育所幼年消防クラブの子どもたちによる防火パレードが行われ、火災予防を呼びかけました。久住支所駐車場では鼓笛演奏や手旗信号を披露しました。



流し雛 ～すこやかな成長を祈りながら～

第13回岡藩城下町雛まつりのフィナーレを飾る「流し雛」が3月4日、豊後竹田駅前稲葉川の河川敷で行われました。

折り雛に“元気で健やかに育つように”という祈りを込めて、ひとつずつ流します。参加した園児たちは、竹船をゆっくりと水面に浮かべていました。



舞台芸術体験『講談』って面白い！

2月25日、芸術を愛する心を育てようと「舞台芸術体験巡回公演」がくじゅうサンホールで行われ、市内小学校の児童たちが「講談」について学びました。

ステージでは女性講談師の室井琴栢と一龍斎貞水が講談を解説。続いて、児童の代表が練習を積んだ講談を発表しました。



勇気と希望を胸に

竹田高校が全国・九州大会出場へ

3月16日、竹田高等学校の生徒たちが全国、九州大会への出場報告に市長室に訪れました。器楽部は『九州高文連吹奏楽大会』(3/19〜20・福岡県)に出場、ラグビー部は『第12回九州高校10人制ラグビー大会』(3/19〜21・大分市)に出場、アーチェリー部の西村優里佳さん(2年)は『第29回全国高等学校アーチェリー選抜大会』(3/26〜28・静岡県)出場します。

出場する選手、部員の皆さんのご健闘を心から祈ります。

※静岡県で行われる予定のアーチェリー全国大会は、地震の影響で中止となりました



もっと知りたい 稲葉ダム

↑ダム管理職員による仕組みやその役割の解説を熱心に聞く参加者たち

昨年11月に完成した稲葉ダムの見学会が3月13日に開かれました。参加者は、普段立ち入ることのできない監査廊などを見学しました。また、3月16日審査会が開かれ、稲葉ダム湖の名前は『名水稻葉ダム湖』(小池尚子さん)に決定しました。[応募総数98通]



↑「たくさん本を読んでほしい」と工藤さん

読書の充実で心豊かな子どもに

2月24日、竹田市田町の工藤博視さん(86歳)が、竹田市立図書館の児童図書購入資金として、100万円の寄付金を申し出てくださいました。

工藤さんは昭和60年、荻小学校長を最後に37年間の教員生活を務められました。

「幼少期に、読書をしたかったが、思うように本が手に入らなかった。今の子ども達には思う存分読書をしてほしい」とその思いを語ってくれました。

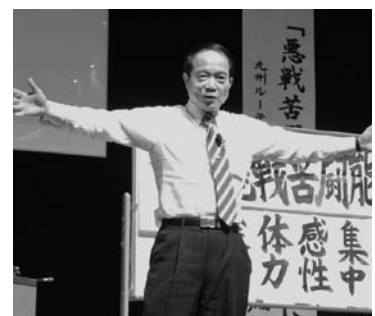


↑皆勤賞表彰を代表して受けとる長松敏幸さん(竹田学級)

人とまちを元気にする地域「協育」

平成22年度竹田市高齢者大学閉講式が3月12日、竹田市文化会館大ホールで開かれました。事業報告に続き、皆勤者表彰が行われ、今年度皆勤者39名が表彰されました。

竹田市生涯学習まつりでは、九州ルーテル学院大学客員教授



↑「凡事徹底がいちばん大事!」と大畑先生

の大畑誠也氏を講師に招き、「悪戦苦闘能力を身につけよう」と題し、自身の高等学校校長時代の経験を基に、熱い講演が行われました。

続く生涯学習発表会では、「手話」や「民謡」、「詩吟」など練習の成果を披露しました。



↑バイオマスタウン構想にご協力を

「竹の堆肥化・飼料化プロジェクト」の推進が期待されます。

首藤会長は「安心安全な農産物は土づくりが一番大切。この植繊機は竹をたい肥化して、市民のみなさんで活用しようというものです。竹田市のバイオマスタウン構想の一翼を担い、竹田の農業の発展と暮しの充実のために頑張りたい」とあいさつ。

2月24日、竹田市から委託された「竹田市クリーン農業推進協議会(首藤和義会長)」に、堆肥や土壌改良剤に使用される竹のパウダーを造る「植繊機」の引渡式が上鹿口自治会の畑地にて行われました。

バイオマスタウン構想に弾み

クリーン農業推進協議会に植繊機引渡し

竹田の殿様は昆虫学者だった

なか が わ ひ さ と も

中川久知

安東和彦

幕末の安政6年（1859）に岡藩最後の藩主・中川久昭の次男として岡城西の丸で生まれた中川久知。害虫防除や生態系保護の先達としての、その生涯を紹介します。（竹田市に有縁で中川久知の後進に当る安東和彦氏に書き下ろしのご寄稿をいただきました）



↑中川久知(1859-1921) 明治40年頃(野口且夫氏提供)

1. はじめに

風光明媚な竹田の地は多くの偉人、先哲を生んでいる。才能豊かな文人画家である田能村竹田と、日本男子の鑑である心の優しい武人廣瀬武夫は、戦前の竹田中学の校歌にも「軍神面聖文武の士、ひとしくめでたりこの郷土」と歌われており、ここを歌う度に、限らない誇らしさを感じたものである。

所で、文武以外の科学技術の分野でも、これまでの偉人先哲に比肩する篤学者が、しかも岡藩主の中川家から出ていたのである。それが、ここに御紹介する昆虫学者の中川久知（ひさととも）である。久知は明治から大正にかけて農事試験場の技師として特にイネの害虫駆除の研究に心血を注ぎ、当時としては画期的といえる防除法を提唱して、食糧増産に大きな貢献をした。

そして後進の学者からも「中川を逸しては日本の応用昆虫学は成り立たぬとさえ思う」と敬意に満ちた大きな賛辞が寄せられているのである。

2. 久知の主な業績

中川久知は最後の岡藩主第12代中川久昭の次子で幕末の安政6年（1859）岡城の西の丸で生まれ、大正10年（1921）熊本で亡くなった。久知はその62年の生涯を博物、特に昆虫の研究に捧げ、明治32年（1899）農商務省農事試験場に奉職、昆虫部の技師として東京西ヶ原にある本場や熊本の九州支場で主としてイネの害虫の生態と防除法に関する研究に従事した。

そして、明治40年（1907）有効な駆除法がなくて農家が手を焼いていたイネの大害虫ズイムシ（ニカメイガ、ニカメイチュウ）に対して「葉鞘変色茎の切断」という極めて合理的で効果的な防除法を提唱し、その技術の普及に努めて、まだ殺虫剤などなかった時代に、日本のイネを害虫から守ったのである。

また、久知は稀に見る篤学者で、生涯を通じて発表した数多くの論文は、後進の研究者を益すること極めて大きく、日本の近代化の時代に、昆虫学の進歩発展に大きく寄与した。明治38年（1905）東京で日本昆虫学会が設立されたが久知はその7人の発起人の1人になっている。また、極めて英語に堪能で、修業時代から数多くの海外の農業関係の文献を翻訳紹介している。そして明治32年（1899）「みだりに外国より鳥獣を輸入するは危険なり」という論文を発表し、

人間の持ち込んだ外来動物が在来の動植物に予期しない大きな危害をもたらした外国での実例をあげて、外来生物の危険性について警告を発している。今から100年も前に現在我々の直面しているこの問題に着目して、その危険性について警鐘を鳴らしていた久知の先見性には全く敬服の外はない。

3. 生い立ちと経歴

安政6年3月21日、竹田のシンボルとも云うべき岡城で生まれた久知は幼名を倅次郎といい、幼少の時から読書が好きで、藩校の由学館で漢籍などを学ぶが、明治4年(1871)12才の時、廃藩置縣によって中川一族は東京に移住する。久知は東京で英語や数学を学び、更に明治8年(1875)東京英語学校に入学する。そして同年9月東京開成学校(東京大学の前身)の入学試験に、合格者38名中19番の成績で合格する。この時の合格者の中には柔道の嘉納治五郎や、後の総理大臣加藤高明の名がある。

明治10年(1877)東京開成学校は東京医学校と一緒にあって東京大学となり、久知は理学部で動物学を学ぶ。当時の東京大学の初代の動物学教授はアメリカ人のエドワード・モースで、進化論を初めて講義し、また後に大森貝塚の発見で有名になる。モースの教えを受けた学生の中には昆虫学の佐々木忠治郎(久知の一年先輩)を初めとして、日本の生物学の草分けとなる人材がいた。

モースは学生に「最後に判定を下すものは、訴えるべき最後の場所は、権威にあたらずして観察と実験なり」と観察と

実験の大切さを教えた。久知の業績を見ると、久知はこの教えに非常に強い影響を受けたのではないかと思われる。

残念なことに久知は2年後の明治12年(1879)家事都合によって東京大学を中退するが、東京大学生物学会(後の日本生物学会)に入会して、その後も生物学への興味を持ち続け、佐々木忠治郎をはじめ同窓同学の仲間との交流を続けている。この交友関係は久知の大きな支えとなり、後に重要な転機をもたらすことになったと思われる。

久知は明治13年(1880)から2年間学農社という津田仙によって創立された私立の農業学校の教師の職を得て、英語や数学と農業を教える。学農社は当時慶應義塾や同志社に並ぶ有名な私学で津田仙は西欧から西洋野菜や新しい農業技術の導入をやっていた。

進歩的な気性の津田仙との2年間は若い久知にとって新しい農業技術だけではなく、実業の一端にも触れる非常に刺激的なものであったと想像する。学農社の出していた「農業雑誌」という月刊誌の中に久知は実に沢山の外国の文献を翻訳

紹介しており、外国の害虫もシリーズで紹介している。

その後久知は東京を離れて愛媛の松山や福岡の中学校、師範学校の教諭となつて、やはり英語と動物学を教えるが、明治22年(1889)、熊本の開校間もない第五高等学校の生物と英語の教諭として赴任する。熊本は早くから西洋教育に熱心だった所で、明治4年には米国軍人のジェーンズを招いて「熊本洋学校」を創設し、有志の少年を英語で教育、また農業などの実業教育にも力を入れ、男女共学も行っていたという。

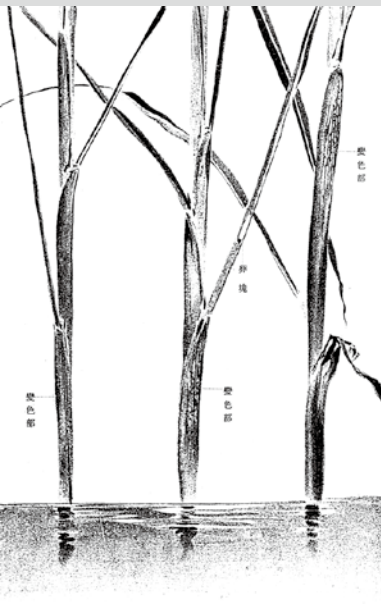
第五高等学校は明治27年(1894)に第五高等学校(五高、現在の熊本大学)と改称される。久知は五高にいた約10年の間、昆虫をはじめとする動物の研究を熱心にやって、それを「動物学雑誌」などに数多く投稿している。熊本には九州博物学界があり、久知はその中心となつて地元で博物界に大きな貢献をし、後に終身名誉会長に推挙されている。植物の分野でも「植物学雑誌」に「熊本縣産植物目録」を英文で発表している。

久知は熊本近傍の山、中でも金峰山に

足繁く昆虫採集に行っており、そのために日焼けして顔が黒光りしているのでも学生からは「金仏さん」と綽名されていたようだが、久知の学問への傾倒ぶりには学生も驚き、かつ尊敬していたという。

久知は根っからの虫屋(昆虫愛好家)だったようで、明治27年まだ名前の無かつたジャノメチョウの一種にコノマチヨウ(木の間蝶)と命名して「動物学雑誌」に発表している。蝶の名前は羽の色や紋様、産地名などによってつけられることが多いが、この蝶は日陰の林の中を飛び回っていることが多いので、「木の間蝶」という名前はこの蝶の行動習性をよく観察していなければ付けられない名前である。自然観察を重視した久知ならではの、しかも風格のある名前だと思う。

それから久知は五高で英語も教えていたが、同じ頃ラフカディオ・ハーンと夏目漱石もやはり英語を教えており、久知の同僚であった。久知がこの二人、特に昆虫文学者でもあったハーンとどんな付き合いをしたのか大いに興味のある所だが、どうもあまり親密な付き合いは二人ともなかつたように思われる。



↑葉鞘変色茎



↑葉鞘変色茎切取鎌

このほかに沖繩や日光に採集に行ったり、有明海の不知火の正体は発光虫ではないかと五高の同僚達と一緒に調査を行ったりしている。八代の近くの海で、海陸2チームに分れて終夜調査したが、結局不知火は現われなかったという記録があり、いかにも実証主義者の久知らしい逸話だと思う。

4. 農事試験場の昆虫部に奉職

熊本から東京へ

明治32年(1899)年、40歳の働き盛りの久知は東京西ヶ原(現在の北区)の農商務省農事試験場に新設された昆虫部に技手としての職を得る。昆虫の研究が職業となった久知は正に水を得た魚のように目覚ましい活動を開始する。最初の担当は害虫や益虫の分類と標本の作製管理だったが、2年後には害虫の発生調査や駆除予防も担当となり、地方を回って害虫の調査や防除の指導、講演をするようになる。主として関東や北陸地方を回っているが、山口、大分、宮崎にも来ており、大分では臼杵の善法寺でイネの害虫について講演を行い、懸下の農学校の職員や生徒の外に各町村からの自由参加者で会場は立錐の余地もない位の盛況であったという。

5. 衆院選挙に出馬

落選・当選・解散

驚いたことに昆虫学一筋の久知が明治35年(1902)突然大分から衆議院議員選挙に立候補する。当時、地元では政友派と改進黨の2大勢力が争っていたが、地元の知名人ということで、政友派の旧

岡藩士から強引に担ぎ出されたようである。この時には改進黨の烈しい巻き返しもあって、次点で落選するが、すぐ国会解散があり、翌年3月に又選挙となる。日露戦争の前の年である。再び立候補した久知は、今度は見事に当選する。久知は増税反対、実業の発展、特に農家の福利の増進と教育の普及をスローガンに掲げ、東京での職を辞し、帰郷して尽力する覚悟を示して戦ったらしい。

その甲斐あって、久知は定員6名の5位で当選を果たし、西ヶ原を辞職して代議士になるのだが、何と年内の11月に又解散となり、翌37年に又選挙ということになる。しかし、久知は再度出馬することなく、すぐ農事試験場に復職し、明治37年には熊本の九州支場の技師となつて、5年ぶりに又熊本に戻つて来る。その後久知の業績を見れば、この解散は日本の昆虫学にとっては大吉、ニカメイチュウにとっては凶となつた訳である。

6. 葉鞘変色茎の切り取り法

被害の早期発見

九州支場に転勤となつた久知は本格的にニカメイガの研究に取り組む。当時はニカメイガの被害を防ぐために、イネの葉に産みつけられた卵を取つたり、枯れ穂を除去したり、稲藁を処分したりしていたが、いずれも駆除の決め手にはならなかった。

ニカメイガの成虫は年2回、6月頃と8月頃発生し、2回目に発生したガの産んだ卵から孵つた幼虫がイネの茎の中に食い込んで、芯を食い荒らすので、穂が出なかつたり、出ても枯れ穂や白穂になつてしまつので、ズイムシ(髓虫)と呼ばれる。

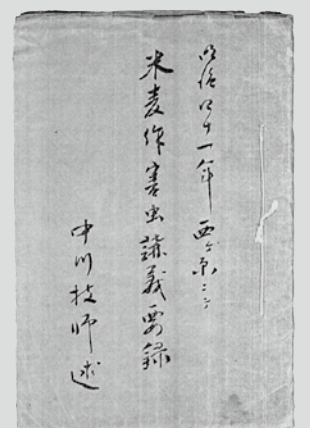
更に詳しく観察すると、イネの茎の一番外側の葉の葉鞘(茎の下の方を包んでいる部分)の下にもぐり込んで内側から食い荒らすので、その被害された部分は黄色い斑点状に変色して、外側から判別出来るようになる。

そして、それを放置しておく、中の幼虫は成長して大きくなり茎の内部を食い尽くすそこから脱出して同じ株の別の茎や隣接する株に移動し、同じように内部を食害することを繰返すので、甚だしき場合には田圃が一面の白穂になる。

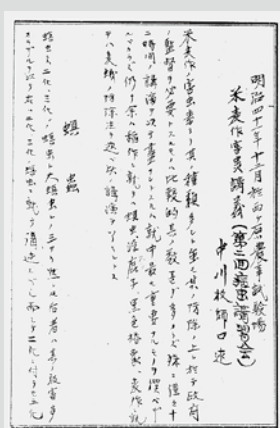
この被害の出方を克明に観察した久知は、葉鞘に初期の被害の兆候が現われた茎を「葉鞘変色茎」と名付け、中の幼虫が他の茎に移動分散する前にその変色茎を切り取って処分するのが一番的確に被害を防ぐ方法だとしたのである。

そして、それを行う時期も大体8月中旬頃から始めて1週間置きに2、3回というようになり易い具体的な方法を示したのである。久知は炎天下の田圃で綿密な観察と実験を繰り返し、収量まで調べてこの様な結論に達したもので、正にモースの「最後の判定を下すものは、権威にあらざして、観察と実験なり」であった。しかし、この方法は炎天下の田圃で稲株全部の葉鞘を見て廻って、見付けた変色茎を一本一本切り取るという大変な作業だが、やれば確実に被害が防げた。

この切り取り作業には図のような小さな鎌が使用された。そしてこの方法の普及につれて、色んな改良がなされ、「変色茎切り取り鎌」として、色んな所から発



↑資料 米麦作害虫講義要録 (明治41年)



売された。私も子供の頃見たことがあり、一体何に使うものだろうと不思議に思った記憶がある。

この方法はすぐには取り上げられなかつたようだ。先覚者は世に容れられずというか、そんなことを云つても農家には無理だという意見もあって、すぐに奨励されなかつたが、大正4年に全国的なニカメイチュウの大発生があつて、それを契機に政府が奨励したので全国的に行われるようになり、大正から昭和にかけての激動の時代に食糧増産に大いに貢献したのである。

7. 退職、自宅での研究

養蜂・養雞・ビタミン

久知は大正2年(1913)54歳で退職するが、熊本市大江村の自宅で養蜂養雞の研究を始める。その頃、養蜂や養雞は農家の新しい事業として注目されてい

たようで、久知は選挙のスローガンの様に農民の福祉のためにその技術改良を指したものと思われる。

その頃、ビタミンが世界的に脚光を浴びていたが、久知はビタミンの鶏の成長や産卵に及ぼす効果を調べるために、驚いたことに61歳で熊本医学専門学校の研究生となり、自宅でその実験をやるのである。

また、その翌年には同医専の解剖学の講師になるなど、学問の幅の広い久知らしく老いて益々盛んに活動を続けていたが、同年11月3日、鶏の餌を調査していた時に突然意識を失って倒れ、そのまま意識の戻ることなく、11月12日自宅で亡くなった。脳溢血であった。享年62歳。斃れて後已むというか、廣瀬武夫のような、壮烈な最期であった。



↑中川久知と養蜂研究所 大正4年(野口旦夫氏提供)

8. 久知の人物像

翌11月13日の九州日日新聞(現在の『熊本日日新聞』)に久知の訃報が載っている。それによると、久知は生涯学問に没頭して爵位など全く眼中になく、分家して一平民となり、兄伯爵の没後も昆虫研究に余念がなかった。賤ヶ獄七本槍の英傑であった中川清秀以来の男系は久知で終りとなった訳である。

ビタミン研究を始めた動機は世界の動物学者がまだビタミンの研究に着手していないことにあり、文部省は今年からその研究に対し、奨学金を支給していたが、その研究半ばにして斃れたことは誠に痛恨事である。

辺福を飾らず金銭には淡泊で、時に人の意表に出る行動に出て、いわゆる常識主義者を一驚させることが少なくなかった。久知の略歴も併せて報じられており、明治44年正六位勲五等瑞玉章を授与され、大正6年従五位に叙せられ、また大正9年には九州博物学会の終身会長に推選されている。

葬儀は14日熊本市大江町九品寺の浄覚寺で行われたが、学会関係者や中川家ゆかりの多くの会葬者で近來の盛葬であったと報じている。

法号は積功院殿積累徳大居士。熊本市内の往生院にある中川家の墓に葬られている。

9. おわりに — 虫害防除家の任務 —

久知は「葉鞘変色茎の切り取り法」を世に問うた明治40年(1907)「虫害防除家の任務」と題する論説を発表し、虫害防除に関する学問を「虫害防除学」と

して、それに対する自分の考え方を次のように述べている。

先ずはじめに、「虫害防除学者の要務とするところは、国民の食物と労力に対し、害虫が著大なる損失を招致する条件を審査し、如何なる方法を施す時、最少の費用を以つて、これを遂行し得るべきかを究めることにある」とし、まず害虫の生活史を知ることが最も重要であり、それと共に害虫の増殖に好適な条件と不利な条件を知り、その繁殖を妨げる天敵類、動物や寄生虫の知識と天候の変化の及ぼす影響を知ることが必要である。害虫が自然に減少する方向に向かっている時に防除するのは、それに要する費用や労力が無駄になってしまふし、益虫と害虫を間違えて殺してしまうことになる。

更に虫害防除学者は作物の栽培方法と害虫の発生消長との関係をよく調査し、害虫の被害を防ぐことの出来る栽培方法があれば、出来るだけその栽培法の実施を考えることが大切である。また、害虫防除は必ずしも虫の数を減らすことではなく、目的はその被害を防ぐことにあると主張している。

当時、このような害虫防除の方法を体系化して、論述したのは恐らく久知が最初であつたらう。今ではこの考え方は定着しており、殺虫剤の使用出来るだけ減らし、他の方法と併用する、いわゆる

総合害虫管理(IPM)の考え方に通ずる。これは前に述べた外来動物の危険性についての警鐘と共に、久知がいかにかこの分野における日本の先駆者であつたかがよく分かる。

後進の著名な昆虫学者の湯浅啓温は戦後の昭和21年(1946)、「明治時代における作物害虫防除の技術史」で久知の業績を要約紹介し、中川はウンカの大発生と気象要素との関係に関心を持つて、その分類や生態の研究を行っただけでなく、メイチュウの卵寄生蜂については、その利用を試みたりして、現在の生態学という「環境抵抗」の分析に努力し、それに基づいた防除論を打ち立てようとしていることは特に注目に値するとし、中川の研究がその当時もつと重視され、十分展開される運に恵まれていたならば、或いは近代生態学は早く我が国において基礎付けられていたかも知れず、またその後の我が国の害虫学の総合と発展速度は必ず異なるものがあつただろうと、痛惜の念を込めて、久知の先見性に対する賛辞を述べている。

明治から大正にかけての、日本の西歐化という激動の時代に、逆境の中を自己の信念に徹し、天職に殉じて、日本の応用昆虫学の歴史の上に特筆すべき足跡を残した先哲、中川久知の生涯は正に一隅を照らすものであつたとの感が深い。

安東 和彦 技術士(農業部門) 虫害防除家

昭和19年 竹田中学入学(受験番号255番)

昭和21年 父の転勤で大分中学に転校

東京大学農学部で害虫学専攻、米国ハワイ大学修士(昆虫学)

三共(株)、日本サイエナミッド(株)で農業の研究開発に携わる

日本技術士会名誉会員、樹木医、環境カウンセラー、通訳案内士(英語)

大分県知事選挙・大分県議会議員選挙

おおいたの 明日を築く その一票

投票日

4月10日(日)

投票時間

午前7時～ 午後6時



4月10日(日)は、大分県知事選挙・大分県議会議員選挙の投票日です。

有権者の皆さんは、投票所入場整理券に記載されている投票所で、入場整理券を持参のうえ投票してください。

投票所入場整理券をなくした場合は、投票所で再作成してもらうことができます。

投票所入場整理券が届いていないときは、市選挙管理委員会にお問い合わせください。

●投票所

竹田	竹田市立竹田幼稚園
岡本	竹田市立岡本小学校体育館
明治	竹田市明治分館
豊岡	竹田市立豊岡小学校体育館
城原	竹田市城原地区館
宮城	竹田市立宮城台小学校体育館
玉来	竹田市玉来分館体育館
松本	竹田市松本分館
菅生	竹田市菅生分館
入田	竹田市立祖峰小学校体育館
嫗岳	竹田市嫗岳分館
宮砥	竹田市宮砥分館体育館
片ヶ瀬	片ヶ瀬集会所
萩	竹田市萩公民館
柏原	竹田市柏原公民館
久住	竹田市久住公民館
白丹	竹田市白丹公民館
都野	竹田市都野公民館
長湯	竹田市直入支所大会議室
下竹田	旧下竹田小学校体育館

※投票時間は、各投票所とも午前7時から午後6時までです。

●期日前投票

投票日当日に、仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由により、どうしても投票所に行けない人は、期日前投票をすることができます。

○期日前投票の期間

4月9日(土)まで。土曜日・日曜日も投票できます。

○期日前投票の時間

各投票所とも午前8時30分から午後8時までです。

○期日前投票所

竹田市役所本庁3階会議室
竹田市荻支所1階会議室
竹田市久住支所3階会議室
竹田市直入支所大会議室

※どの投票所でも投票できます。投票所入場整理券を御持参ください。

●郵便投票

重度の身体障がい者等で、事前に交付を受けた郵便投票証明書を持っている方に限って、自宅において投票用紙に記載し、郵便で送付できます。

●施設等での不在者投票

県指定の病院、老人ホーム等に入院、入所されている人は、病院、施設で不在者投票ができますので施設の事務の方に申し出てください。

●開票

4月10日(日)午後8時から竹田市総合社会福祉センターで行います。

●お問い合わせ

竹田市選挙管理委員会

【平日】 ☎63-1111 (内線360)

【時間外】 ☎63-4814

『大分県農業賞生産・加工・販売グループの部』最優秀賞を受賞した
大分みどり花き部会久住支部アルストロメリア研究会会長

大窪 慎二

(石原・48歳)

大分県農業の振興を目的とする第42回大分県農業賞表彰式が2月25日に行われ、『生産・加工・販売グループ部門』で大分みどり花き部会久住支部アルストロメリア研究会が最優秀賞を受賞しました。

リンドウやシンテツポウユリ等の露地花き中心だった久住町内で平成2年に、吉野守前研究会長が初めてアルストロメリアの栽培を始めました。平成8年に2戸が新たに加入し、研究会が発足。平成15年に鹿児島、福岡、北九州、久留米市場へ向け、共販出荷を開始し、同年に



↑アルストロメリア研究会のみなさん

は販売額1億円を達成しました。現在生産者は14戸。栽培面積は約2・5畝へ増加、年間200万4千本を生産するまでになり、久住花きの冬場の品目



→
寒い時期には長く保つのもアルストロメリアの魅力のひとつ

かあちゃんパワーのおかげです！

として安定してきています。

夫婦・家族で行う目揃え会や圃場巡回による情報交換により、生産技術や品質の向上に努めており、気象条件により増減はあるものの、単位収量は約8万本の出荷を確保しています。環境の温度変化に対応するため、地中に通した管に冷水を通す冷却装置を導入。また、養液土耕栽培を一部に取り入れるなど、生産効率の維持に取り組んでいます。

色鮮やかなアルストロメリアの品種選定は、研究会内で生産者ごとに行われています。現在品種の数は50を超え、その多様性は『共販』の強みとなっています。

「花は家族のようなもの。そして、花づくりは生きがいです。」



吉野幸恵さんが米の食味格付特Aを獲得

(助)日本穀物検定協会が毎年行う全国の「米の食味ランキング」で、吉野幸恵さん(下平田)が最高評価「特A」(平成22年度産)を獲得されました。

米の食味ランキングは、炊飯した白飯を実際に試食して評価する食味官能試験に基づき、昭和46年産米から毎年全国規模の産地品種について実施されています。

吉野さんは「美味しいお米ができるのは、竹田は土壌と環境に恵まれているから。(米づくりの秘訣は)水管理が一番ですね」と話してくれました。

アルストロメリアの名前が広く知れわたるように努めたい。：今回の受賞は、かあちゃんパワーのおかげです！」と、笑顔で話す大窪慎二会長。

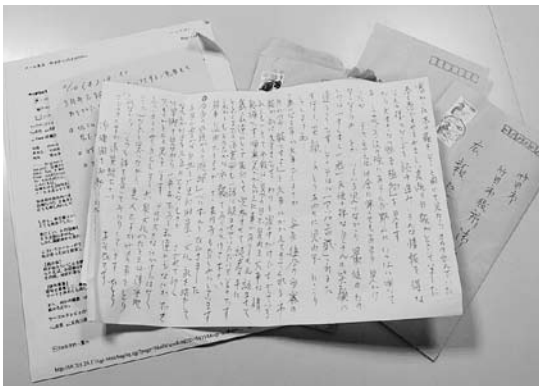
研究会の活動の中心は、若い世代がリード。緩やかな『共販体制』が組織の一体感に結びつくなか、20代から30代の後継者も着実に育っています。



↑第42回大分県農業賞【企業的農業経営部門】の個人経営の部で、甲斐昭次・光子さん(直入町下河原)が優秀賞を受賞されました。



←
「特定の人が載るより、多くの市民を載せた方がよい」ほか、市民のみなさんからいただいたご意見やご感想。



『広報たけた』これからの役割を考える 「一番になることが大事でしようか？」

市報3月号の当コーナーで「広報たけたは本当にダメなのか？」という内容に対して、市民の皆様から様々なご意見、ご感想をメールや手紙などでいただきました。本当にありがとうございます。今後市報づくりに生かしたいと思います。

■市報を読んでもくれる人のために

先月号の記事に対してご意見、市報内容に関しての感想、新コーナーの提案までいただき、すべてを真摯に受けとめたいと思っています。
そのなかの1通の手紙を紹介합니다
(名前は伏せさせていただきます)。

「寒かった冬の扉をそっと開けてみたら、待ち望んでいた春を感じさせるやさしい表紙の市報が届いています。いつもの様にページを読み進みいるんな情報を得ながら大好きな『郷土の植物』を見ます。あ、この花、子供の頃にあそんだ野山にいっぱい咲いていたな…。そう言えば田舎に帰ってもあまり見かけなくなつたわ…とか。いろいろ思いながら最後の楽しみは『すくすく1歳』。天使の様なたくさんの笑顔に逢つことです。そのそばに『アッパレ百歳』。これまたすばらしい笑顔。このとりあわせに思わずにつこりしてしまつ私…。

一番になることが大事でしょうか。毎号組合の当番の方が、市報ですよと大事に抱えてきてくれる市報が大好きです。わりと家の中で過ごしている私どもにとって市報は、自分の目で見る

大事な情報源です。順番なんか考えたことがありません。読ませて戴く私達にとって取材して完成させて読者の手に届くまでの御苦労も一緒に読ませていただいているのです。これからもあたたかな市報であり続けてください」

あ、そうか。0点ではなかった。救われたような安堵感と、身の引き締まるような思いです。広報コンクールのために、作っているのではないと、当たり前前することを気づかせてくれました。

■これからの市報の役割

市民参加や行政と市民が協働によるまちづくりを進めるには、『情報の共有化』が必要だと言われています。市政情報の発信、提供が市報の役割です。市報担当者がそのためにすべきことはたくさんありますが、心がけていることは「つなぐ」ということです。人と人。市民と行政。情報と情報を必要としている人…。

今月から表紙をリニューアルしました。今後も市民のみなさんが楽しみにしていただけるような「広報たけた」になるように努力します。



「知産知消」とは、知人が生産したものを、遠くの知人を介して消費の輪を広げていくことです。

たけた食育ツーリズム

竹田の魅力に磨きをかけた！

パッケージ事業・実現事業第1幕を閉じる

厚生労働省から委託され、平成19年10月の事業開始以降、本広報誌にて事業目的や内容、事業参加への呼びかけ、進捗状況等をお知らせしてまいりましたが、地域雇用創造実現事業は3月をもって終了しました。昨年3月で事業を終えたパッケージ事業により起業・創業を含む200名以上の雇用の創出を図ることができましたが、これらの対象者を中心に、商品開発や販路開拓等を支援してきたもので、食づくり分野、ツーリズム分野共に商品や生産者(創業者)と需要者(消費者)を繋ぐ地域商社の設置による更なる発展や継続を目指してきました。

「ツーリズム分野」では、その役割を果たす竹田市観光ツーリズム協会と連携し、Webサイトによる旅行商品の予約・販売システムを立ち上げ、着地型旅行商品の提案を行ってきました。

「食づくり分野」では、「エリアラボたけた」での事業の紹介や各種研修会の開催、試験販売等により、多くの市民の皆様にご利用いただきました。同施設は4月下旬から農村商社わかばにより特産品を中心とした販売施設として生まれ変わろうとしています。また、本年1月には創業した個人・団体30社による「たけた食ネットワーク」が組織され、本事業終了後を見据えた活動が始まっています。

地域資源の掘り起こし、見直しから始まったパッケージ事業による人材育成や仕組みづくり、実現事業により磨かれた商品は、それぞれの個性を活かしながら都市部や市内道の駅等で着実に売り上げを伸ばしています。小さな「創業」から2次的に「雇用」が生まれつつあり、事業終了後の継続・発展のためには行政を始め関係者のより一層の連携と支援が望まれるところです。



新たな(2回目)パッケージ事業採択に挑戦！

地域の課題に正面から取り組み、市民参加による雇用創出を目指します

当協議会では、事業終了後新たな雇用創出事業に着手します。2回目のパッケージ事業構想に着手しており、今回のタイトルは「生き活き興起雇用創出大作戦！」。超高齢化社会の竹田市において、住民の40%を占める高齢者を含め、地域福祉や介護、健康増進、環境・エネルギーの分野を対象として、自らが生きがいとして働く場を創り、地域が連携し支え合っていく仕組みづくりを目指します。次世代へ繋ぐ「竹田ならではの地域内発型の雇用創出や起業・創業支援を図り、超高齢社会に挑戦していきます。地域介護のサポーターや健康運動インストラクター、バイオマスなどの担い手など、地域社会の中核的な人材育成と、その雇用の場の仕組みづくりをみなさんと一緒に考えていきます。現在、国に対して提案申請中です。



『竹田こだわり物産市』大盛況にて開催

3月19日(土)から21日(月)までの3日間、「エリアラボたけた」(大分銀行前)を会場として、「竹田こだわり物産市」が開催され、多くの市民や事業参加者、観光客、報道機関等により延べ600名の来場があり、盛況のうちに終了しました。「たけた食ネットワーク」主催による販売コーナーでは、地域素材を活かし商品化を目指してきた30の新商品紹介と試験販売、試食が行われ、また、着地型旅行商品として「旬旅」のPRも行われました。

ぼくたち・わたしたちの学び舎

子どもたちの笑顔と共に

竹田保育所



↑正門の犬のおまわりさん



↑南山荘訪問



↑おもちつき

竹田市出身の佐藤義美作詩の童謡「犬のおまわりさん」は、子ども達の大好きな歌の一つです。竹田保育所の正門には、犬のおまわりさんと子猫ちゃんの石像があり、朝夕と子ども達の元気な姿を見守っています。

「子ども一人一人を大切にし保護者からも信頼される保育所を目指す」ことを保育理念とし、0歳児から5歳児までの子どもさんをお預かりしています。子どもさんが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場となる保育所として、家庭から

離れて入所する不安を少しでもなくし個々の発達に配慮しながら、基本的生活習慣の自立を進めています。

また、季節の遊びを楽しみ、興味や関心を育てながら、遊びの中で子ども同士が社会性、協調性を身につけていける様に保育に取り組んでいます。毎月のお誕生会では、地域の方などのご協力で、演奏や舞踊などを見せて頂き、年4回の老人ホームへの訪問では、おじいちゃん、おばあちゃんとふれあい、元気のお裾わけの代わりに沢山の優しさを頂いて帰ります。人との

関わりの中で、人に対する愛情を育む体験は、将来の子ども達にとって貴重な財産となることでしょう。

また、野菜作りやクッキングを保育に取り入れ食育活動など様々な体験を通し、日々生活リズムを大切にしながら、健康で安全に過ごすことで生きる力の基礎を身につけ、成長していくことを願っています。

子どもさんの心身の成長や変化を保護者と共感し、信頼され安心して子どもさんを預けることができ、地域の子育て支援の役割を担う保育所となる様に、職員一同努めております。

かわいい笑顔と笑い声が絶えない竹田保育所でありたいと思います。

(佐藤美紀)

まろごと博物館

67

この「まろごと博物館」は、新市となつて「あおぞら博物館」を衣がえして、各地区の執筆者が交代して受け持ち、今年度中に七〇回を超えます。

毎年度末には、総務課のお声かけで執筆者の集まりをもつていますが、必ず話題になることは「このままではうずもれてしまう。何とか本にまとめられないか……。」窓口の総務課は、この話をうけて「まろごと博物館」の部分私たちに冊子にしてまとめてくださいなのですが、私たちがまろごと岡の里事業実行委員会「歴史と自然を護るネットワーク」で、もう一つお世話している「伝えたいふるさと竹田」が本年度中に一〇〇号をむかえます。

基本的に隔月発行、班回覧ですが、うれしいことに「二年分もらいたい」と創生館にこられる人もできています。

期せずして、担当者の中

さまざまな波紋

からまとめようという声がありました。『由学館セミナー』とともに、ふる里を深く知ろうという市民のみなさまの意欲がくみとられるようになってきていると感じさせられます。

岡の里事業実行委員会では、「明日を拓く奥豊後二十一世紀の会」「文化財を応援する会」のみなさんと相談して、執筆者、担当者と呼びかけ、仮称「奥豊後竹田ふるさとノート作成協力者会議」を立ち上げることでできました。

ネットワークを充実させることで、貢献度をより高めることとなりそうです。

この動きの中で、屋外にある「作品」、「顕彰像」が三十九体もあることがわかってきました。

メンテナンステクニク習得を通して顕彰活動を高めようという動きも出てきています。

(歴史と自然を護るネットワーク)

「知る」ことは「治る」の第1歩

年に1回は健診受診を！

4月になり新年度が始まりました。竹田市では健康を保つために、年に1回は健診を受診することを推進しています。

★健診と検診の違いは？

「健診」と「検診」。同じ読み方ですが、それぞれ意味が少し違います。

「健診」：身体計測、血圧測定、血液検査など、健康かどうかの確認や病気の危険因子を持つているかをみます。

「検診」：レントゲン検査やマンモグラフィなど、がんやその他の異常を早期に発見します。


★なぜ健（検）診が必要？

みなさんは40度近くの高熱がでたり、激しい痛みがあったり、呼吸が苦しくなったりどうですか？おそらく、ほとんどの方が「何かの病気なのでは」と思い、病院受診をするのではないのでしょうか。

しかし、すべての病気が必ずしも熱や痛みなどの症状がでるとは限りません。現在、死亡原因の第1位となつてい

る『がん』や年々医療費が増えている『生活習慣病』などは初期に自覚症状がほとんど現れません。特にがんにおいては、症状が出現した時には進行がんである可能性が高くなります。重症化してからでは、本人のからだの負担だけでなく、家族の負担、医療費の負担など様々な面で影響がでてきます。

保健だより



竹田市健康増進課 ☎63-4810
 荻支所いきいき市民課 ☎68-2211
 久住支所いきいき市民課 ☎76-1111
 直入支所いきいき市民課 ☎75-2142

がんの進行によって医療費が4～6倍に増えます。

	がんの進行度	
	初期	末期
胃がん	75万円	300万円
直腸がん	65万円	440万円
乳がん	75万円	400万円

出典：がん治療費.com



健診結果から自分の健康状態を客観的に把握し、生活習慣を見直すこと、病気を早期発見し、早期に治療することは重い病気を予防することにつながります。そのためには、定期的な健（検）診はかかせません。

★健診費用を助成します。

竹田市では指定の健診機関で受診した場合、健診料金について市の一部助成を受けることができます。詳しい健診日程などは4月自治会文書で配布されている健診のちらしや愛育保健推進員を通じて配布される健診キットや健診ちらしでご確認ください。

最近では、がんの多くや生活習慣病のほとんどが早期発見・早期治療によって進行をおさえたり、治癒したりすることが可能になりました。しかし、進行してからでは、もとの健康体にもどすことは難しくなります。まずは、年に1回健（検）診を受けて、自分のからだの状態を「知る」ことからはじめてみてはいかがでしょうか。

古代米入り桜餅

〈今月の食材〉 古代米

……食紅でなく、自然のお米の色を生かして作る桜餅です……

今回使用した黒米、赤米は、玄米の色がそれぞれ黒色、赤褐色で果皮、種皮の部分にアントシアニン系色素、タンニン系色素を含んだお米です。黒米はおはぎの起源で古くから祝いの米として珍重されてきたという説があり、赤米は赤飯の起源と考えられています。栄養成分は白米と比べて、たんぱく質、ビタミンB1、B2、ナイアシン、ビタミンE、鉄、カルシウム、マグネシウムなどが豊富に含まれています。食物繊維もあり、便秘の解消にも効果的です。中でも黒米の糠に含まれるアントシアニンは、血管を保護して動脈硬化を予防し、発がんの抑制に関係する抗酸化作用があるとされています。白飯に5%～10%混ぜて炊くだけで、美しい色のお飯になるのも魅力ですね。

〈材料〉8個分

もち米	135g	砂糖	30g
黒米	5g	粉寒天	2g (1/2袋)
赤米	10g	ロゼワイン(又は酒)	大さじ1
(お米を合わせて一合)		あんこ	150g
		桜の葉の塩漬	8枚

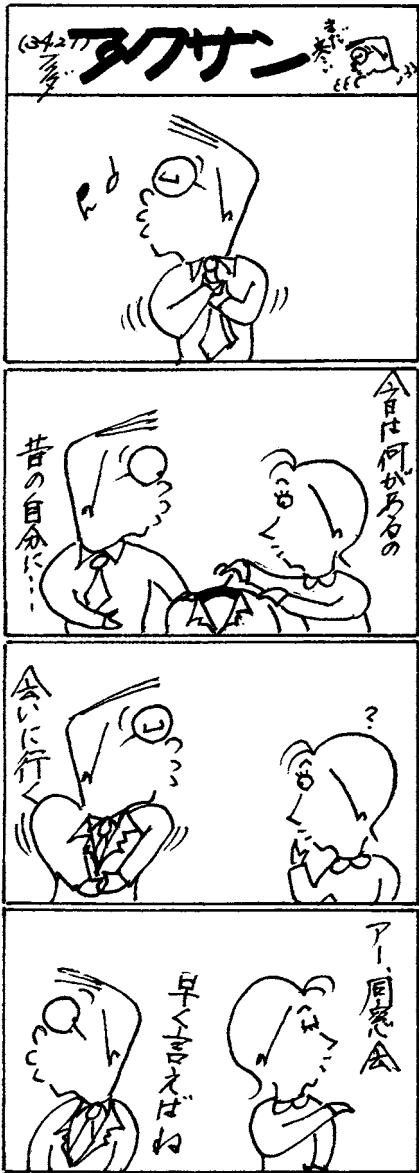
今月の「食育」レシピ



【作り方】

1. もち米、黒米、赤米は洗って通常の水加減で一晩水に浸けておく。
2. そこにカップの材料を加えて、炊き上げる。
3. あんこは8つに丸めておく。
4. 炊き上がったら粗熱をとって、あんこを包み、桜の葉で包む。





今日の新聞ご案内

〔一般の本〕
 ・やめないよ 三浦知良
 ・信頼する力 遠藤保仁
 ・奇跡の野菜—永田農法は進化する— 永田照喜治
 ・お金が貯まらない人の悪い習慣99 田口智隆
 ・老年の品格 三浦朱門

〔子どもの本〕
 ・ちいさないきもの むし 得田之久
 ・ぐるぐるわわわ 越智典子
 ・うさぎうさぎこんにちは 松本典子

※新しい雑誌が入りました！ご利用ください。
 ・nonno (ノンノ) 4月号 ・クーヨン 4月号
 ・日経ウーマン 4月号

図書館から 4月の お知らせ

■竹田市立図書館
TEL・FAX 63-1048

■荻図書館(荻みらい館内)
TEL 68-2200・FAX 68-2057

■久住図書館
TEL 76-0717・FAX 76-0724

■直入図書館
TEL 75-2240・FAX 75-2231

ほか20冊ほど購入しました。

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※カレンダー中の白抜きの日が休館日です。

おはなしルーム

日時 4月6日(水)
13:20~14:00
場所 市立図書館
えほんのへや

おはなし広場

4月はお休みです！

ブックスタート

日時 4月13日(水)
14:00~
場所 竹田市総合社会
福祉センター

おはなしのへや

日時 毎週火曜日
10:30~11:00
場所 竹田市立図書館
えほんのへや

「司書おすすめの一冊」

「はじめの穴終わりの口」



井坂洋子 (幻戯書房)
井坂洋子の詩の世界へつながる自伝的エッセイ。いろんな詩人の詩に寄せて作者の日常が綴られています。人生の奥深さを考えさせられる一冊です。

「さくら」



長谷川摂子 (福音館書店)
さくらの舞い散る季節になりました。さくらの木の一年を知っていますか？いのちの息吹きが感じられる一冊をぜひ読んでみてください。

誕生おめでとう

② 月生まれ
(親・自治会)

32 31 24 20 18 16 14 12 8 6 4 3 2

もくじ ◆ 4月号

人の縁をつなぐ墓守り桜く清水さんちの枝垂れ桜
 第1回田学館セミナー 『竹田地域のこ見聞きしました』
 温泉療養保健制度 国内初の挑戦
 観光庁認定・平成22年モニターツアー
 雨の名水ロード 1937人が快走
 第24回岡の里名水マラソン大会
 平成23年度予算をお知らせします
 平成23年度一般会計概要／3月竹田市議会第1回定例会議決
 内容／平成23年度一般会計予算額は17億7350万円
 平成23年度竹田市人事異動
 東北地方太平洋沖地震
 助け合い、支え合おう 今こそ、恩返しの時
 市長コラム21『有由有縁』

【別冊たけたん情報】竹田市のごよみ

監査公表／竹田雑感／まちの話
 特別寄稿 竹田の殿様は昆虫学者だった『中川久知』 安東和彦
 大分県知事選挙・大分県議会議員選挙／TAKETANFACE今月のひと
 (大窪慎)／シリーズほろにが／国際カルチャー・ポプリ／知産知消のす
 め／ほくたち／わたしたちの学び舎(竹田保育所)／まるごと博物館／保健
 だより／食育レシビ／図書館情報／誕生おめでとう／ブックサン
 開拓入植60年目の春 高齢者を見守る「安全・安心まもり隊」結成
 郷土の植物／すくすく1歳／アップレ100歳

〔おことわり〕『ふるさと風韻』はお休みします



↑上野開拓団入団式(昭和26年10月9日)
※現在の南原自治会



↑連携協定書調印式



↑地域防犯の活動拠点として「地域防犯パトロール隊」の看板と青色灯が掲げられた南原公民館

南原自治会のみなさん→



開拓入植60年目の春

高齢者を見守る「安全・安心まもり隊」結成 信頼と安心に結ばれた 南原自治会

教員を退職後、畜産を営む山坂自治会長。「これからの農業経営は、地域連携の後継者づくりが必要」と、共同畜舎の建設や、鶏ふんを和牛農家に無料提供など地域環境の整備を進めている



↑定期パトロールをするまもり隊。声掛けをすることで深まる「絆」

竹田市北東部の中山間地域に位置する南原自治会(山坂勇自治会長・67歳)は、人口20人(9戸)、うち10人が65歳以上です。3月2日、小規模集落対策事業により地域の防犯や高齢者の見守り活動を行う『南原自治会安全・安心まもり隊』を結成しました。

安全・安心まもり隊は、山坂自治会長を隊長に地区民全員で編成。定期的にパトロールを実施するほか、毎朝8時に全世帯が軒先に掲げる旗で安否を確認します。

また、「直入地域安全パトロー

ル隊」や「直入プレスセンター」との協力、連携をすることで、安心して住める集落づくりに取り組みます。

そして南原自治会にとって今年、ひとつの節目を迎えます。

終戦後、食糧増産と人口対策の必要性に迫られた政府は、未墾地を買収し、入植開墾を国策

として奨励する政策を打ち出し全国各地で開拓事業が実施されました。昭和26年、この南原に長野県から10名の入植が決定。開拓事業がスタートしましたが、それは苦難の連続。ほとんどが手作業の開拓で、基盤整備、道作り、井戸掘り、そして金策にも苦心しました。先人たちは知恵を絞った『水問題』。希望と喜びに満ち溢れたベビーブーム。農業経営に模索をしながら、厳しい大自然に挑み続け、今年開拓入植60年目。

現在、この60周年を記念して、この地区の史誌を編纂中の山坂自治会長は、次のように語ってくれました。

「この隊ができてから、向こう三軒両隣という、つきあいが甦りつつある。普段から、地区全員の気持ちが通じ合うことが、一番大事なのだと思う」



郷土の植物

(266)

阿孫 久見

第73回

オオカメノキ(スイカズラ科)

やや標高の高い山地の林縁や林内に生育する高さ4メートルほどの落葉低木です。枝を上部分で横に広げて樹形が丁字状になります。

対生する葉は短枝(短いままで葉をつけている枝)の上の2個が向かい合い、シワ状の葉脈が目立つ丸いハート形でふちに鈍い鋸歯があります。大きさは長さ15センチ、幅が13センチほどです。花の時期には葉はまだ縮んだ状態で完全に展開していません。

春から初夏の頃、周りに5

裂する径3センチほどの純白の装飾花をつけ、その中央部に小さな径5センチほどの5弁の白い両性花を沢山咲かせます。花が終えると夏には青い実、秋には真っ赤な実が見られ、最後は黒く熟します。実は径8センチほどです。

葉が大きく形が亀の甲羅に似ているので大亀の木の名があります。

竹田では祖母山系・くじゅう山系の落葉広葉樹林の林縁や林内で多く観察されます。花期は4月から5月です。

おくすく
1歳



平成22年4月生まれ

誕生日 親
(自治会)

平成23年5月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します!

問 秘書広報係 ☎63-1043



アッパレ!
100歳

え 深江 フデノさん

3月15日に深江フデノさん(桜町南)がめでたく満100歳を迎えました。長崎県佐世保市で生まれ、夫婦で旅館業を営んでいましたが、戦争時に萩町に移住。その後は、農林業に従事されました。健康のために、家の中で杖を使用しながら歩行することが日課。長生きの秘訣は「何事も平常心で気にしないこと」。深江さん、いつまでもお元気で。

人口のうごき

(平成23年2月28日現在)

	25,195人	(前月比)	人 (-37人)
人口	11,707人		人 (-23人)
男性	13,488人		人 (-14人)
女性	10,545世帯		世帯 (-6世帯)

住民基本台帳登録人数



たけたん

情報

2011 4

本 庁 ☎0974-63-1111
 荻支所 ☎0974-68-2211
 久住支所 ☎0974-76-1111
 直入支所 ☎0974-75-2211

3月11日発生した東北地方太平洋沖地震の被災者の皆様またご家族が被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。この地震の影響でイベントや行事に影響を及ぼす可能性があります。各お問い合わせ先にご確認ください。

・4月3日(日)に開催が予定されておりました「岡城桜まつり」は中止となりました。

英雄寺ぼたん祭り 花祭ぼたん会

岡藩藩主、三代中川秀成公が慶長2年(1597年)第2次朝鮮の役の時部下、永田新右衛門秀盛・村治五郎太夫・那次郎兵衛の3士に命じもって帰られた名花 朝鮮ボタン。

日 時 4月20日(水)
 場 所 安産地藏尊霊場曹洞宗龍泉山 英雄寺
 ●お問い合わせ 英雄寺 ☎63-1516

荻神社春季大祭「ゆたて」

県無形民俗文化財。荻神社の祭りに奉納される、齊庭の前の2つの大釜の湯を神に供え、祝詞の奉上げ後、笹で湯を振り散らす。「ゆたて」の湯がかかると魔除け疫病除、長寿になるといわれ、参詣者は湯をかけてもらう。

日 時 4月26日(火) ※駐車場はありません
 (JR豊後荻駅からタクシーで5分、徒歩20分)
 11:30～ 神事
 12:00～ 五方礼始
 12:30～ ゆたて

場 所 荻神社(竹田市荻町新藤1039)
 市道荻・菅生線(広域農道沿い)
 ●お問い合わせ 竹田市荻支所産業建設課 ☎68-2215

第23回さとうよしみ竹田童謡祭

今年は大分県立芸術短期大学の学生による、手話童謡や手話指導も計画しています。盛りだくさんの楽しいイベントで、さとうよしみの作品にふれてみませんか?是非皆さんお越しください!

と き 4月29日(祝・金) 10:00～12:00
 と ころ 佐藤義美記念館
 内 容 童謡手話・さとうよしみ合唱団・影絵・オカリナづくり・宝探しなど
 入 場 料 無 料
 ●お問い合わせ さとうよしみ竹田童謡祭実行委員会事務局
 (竹田市中央公民館) ☎63-1044

祖母山山開き

日 時 5月3日(火) 11:30～
 場 所 祖母山山頂(少雨決行)
 ※神事・山頂祭終了後、登山者に記念品のバンダナを配布

〔当日連絡先〕 神の里交流センター「緒環」
 ☎0974-67-2288 ※雨天時は7:00に決定

●お問い合わせ 竹田市商工観光課 ☎63-4807

第23回大野川源流祭り

日 時 5月3日(火) 10:00～
 場 所 陽目の里キャンプパーク
 内 容 エノハのつかみ取り、餅まき、歌謡ショー等
 ※荻福祉健康エリアから会場までシャトルバスを運行します
 ●お問い合わせ 大野川源流祭り実行委員会事務局
 (荻支所・産業建設課) ☎68-2215

歴史資料館

☎63-1923

〔開館時間〕 9:00～17:00
 〔休館日〕 月曜日。祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開館)
 ※4月30日(土)、5月2日(月)は開館します。

- 常設展 田能村直入展
 2階展示室B 2月26日(土)～4月28日(木)
 田能村竹田の高弟・田能村直入の作品の画業について館蔵品を中心に紹介します。
- 常設展 田能村竹田生誕記念展
 2階展示室B 4月29日(金)～6月24日(金)
 田能村竹田の初期作品を中心に紹介します。

市民ギャラリー水琴館

☎63-2200

〔開館時間〕 9:00～17:00
 〔休館日〕 月曜日。祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開館)
 ※4月30日(土)、5月2日(月)は開館します。

- 写団ちくでん四季展
 3月29日(火)午後～4月10日(日)
 竹田市を中心に会員が撮影した四季折々の写真60点を展示。(写団ちくでん ☎63-1464 [佐藤])
- 真多呂人形展
 4月13日(水)～4月24日(日)
 真多呂人形(木目込人形)でかわいらしい子どもの遊びや愛らしい表情などを表現した作品を展示。
 (真多呂人形教室 ☎62-3315 [小河])
- フォトコレクションXV 『工藤敬一写真展』
 4月27日(水)～5月8日(日)
 竹田に生きる人たちの営みなどをモノクロ写真で、約40点展示。(工藤敬一 ☎62-2904)

※4月12日(火)、26日(火)は展示替えのために臨時休館します。
 ※なお、展示内容の詳細は、申込者へ直接お電話ください。

募集

「バートクロツインゲン市温泉発掘100周年記念竹田市ドイツ訪問団」参加者を募集します

竹田市の友好都市バートクロツインゲン市温泉発掘100周年記念行事及び、ライプツィヒ市瀧廉太郎記念コンサートに参加するためドイツ訪問団を募集します。これに関して、市民の皆さんに対する説明会を下記のとおり開催します。

- 日時 4月20日(水) 18:00～
場所 竹田市社会福祉センター会議室
内容 ・参加予定 竹田市長ほか15名～20名
・参加費用 230,000円～280,000円
(為替レートや参加人数等で変動があります)
公式行事等に係る経費は竹田市が補てんしますが、参加者には均等に自己負担をいただきます。
※バートクロツインゲン滞在中は原則ホームステイです。
※ホテル利用の方は別途ご負担をいただきます。

○日程

- 11月17日(水) 福岡空港発(チューリッヒ空港到着)
11月18日(木) バートクロツインゲン アイゼナハ市へ
11月19日(金) アイゼナハ 世界遺産研修
11月20日(土) ライプツィヒ 瀧廉太郎記念コンサート
11月21日(日)～22日(月) バートクロツインゲン 市民交流
11月23日(水) 温泉発掘100周年記念式典参加
11月24日(木) バートクロツインゲン 市民交流
11月25日(金) スイス
11月26日(土) チューリッヒ空港発
11月27日(日) 福岡空港着 竹田着

申込み 参加希望者は5月9日(月)までに所定の参加申込書で商工観光課までお申し込みください。

●お申込み・お問い合わせ 竹田市商工観光課 ☎0974-63-4807

屋外彫刻保存事業「屋外彫刻メンテナンス講習会」

—参加者を募ります—

- とき 4月16日(土) 10:00～15:00
○ところ 竹田文化会館前「生誕」(朝倉文夫作)
○募集人員 先着15名になり次第締め切らせていただきます。
○参加料 1,000円
○持参する物 ビニール手袋、タオル
○その他 作業の出来る服装をお願いします。昼食は、各自で用意願います。
○申込窓口 岡の里事業実行委員会 TEL 62-4100 FAX 62-4100
竹田市内には、30体をこえる屋外彫刻の作品、顕彰像があります。

伝統的文化都市に住む私たちの手で屋外彫刻作品の保存顕彰の実をあげたいと存じます。

大分大学田中研究室の指導を受け、まずは、像メンテナンスの技術を習得していただきます。

主催 岡の里事業実行委員会 協力 竹田ロータリークラブ、パーカー加工株式会社、竹田市企画情報課
文化・地域振興室 指導 大分大学田中研究室

「剪定・園芸講習」「剪定技能講習」受講者募集

☆年齢55歳から60歳代までの方 豊後大野市・竹田市内在住者、健康で就職意欲のある方、ハローワーク豊後大野へ求職登録している方に限ります。

◇募集期間 4月11日(月)～4月26日(火)まで

◇お申込み・お問い合わせ (社)豊肥地域シルバー人材センター豊後大野支所 ☎0974-22-7876 竹田支所 ☎62-3777

「平成23年度竹田市高齢者大学」受講生募集

竹田市生涯学習課では、概ね65才以上の学習意欲のある方を対象に、時事問題や一般教養、健康や文化に関する学習会を毎月1回開催しています。

竹田・荻・久住・直入の地域ごとに4つの学級があり、年間3回合同学習会を行います。受講を希望される方はお

電話でお申し込みください。

締切り 4月20日(水)まで

●お申込み・お問い合わせ

竹田市教育委員会生涯学習課 ☎63-4817

荻公民館 ☎68-2025 久住公民館 ☎76-0717

直入公民館 ☎75-2240

税金

介護保険料・後期高齢者医療保険料・国民健康保険税の仮徴収通知を発送します

介護保険料・後期高齢者医療保険料・国民健康保険税(以下「介護保険料等」)の仮徴収通知を4月中旬に発送します。介護保険料等について、65歳以上の年金受給者におかれましては、基本的に特別徴収(年金からの天引き)によって納めていただいております。その際、4・6・8月分から徴収することを『仮徴収』、10・12・2月分から徴収することを『本徴収』といいます。

仮徴収は本年度の所得が確定していないため、前年度の保険料(税)額をもとに仮に算定された額を徴収します。本徴収は確定した保険料(税)額から仮徴収分を差し引いた額を徴収します。

仮徴収額は、原則として前年度2月の特別徴収額と同額になりますが、所得の変動や世帯の構成異動などにより、仮徴収額と本徴収額が大きく異なることが想定される方については、徴収される額が年間を通じてできるだけ均等になるように、6・8月の仮徴収額を変更し、特別徴収額の平準化を図ります。

4月に介護保険料等の仮徴収通知が届く方は、上記の平準化による方、もしくは、4月または6月から新規に仮徴収が始まる方が該当します。

介護保険料について、昨年までは仮徴収する方全員に通知していましたが、今年からは仮徴収の3回が2月と同額の方には通知いたしませんのでご了承ください。

●お問い合わせ 竹田市税務課課税係 ☎63-4803

自動車税の納期限は、5月31日(火)です。忘れずに納めましょう

・自動車税は、4月1日現在の登録上の所有者(割賦販売は使用者)に課税されます。

・納付が納期限を過ぎた場合は、延滞金が加算されます。

●お問い合わせ 大分県豊後大野県税事務所 ☎0974-22-7501

年金

【国民年金保険料のお知らせ】

平成23年4月分から平成24年3月分までの国民年金保険料は、月額15,020円です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで収めることができます。便利でお得な口座振替もあります。

保険料は、納付期限(翌月末日)までに納めましょう。

●お問い合わせ 日本年金機構 大分年金事務所 ☎097-552-1211

◇平成23年度 年金相談のご案内

場所 竹田市高齢者いきいき交流センター
(竹田市総合社会福祉センター裏)

時間 10:00～15:00

受付 予約制(一部)

※1か月前から前日までに、直接年金事務所に予約をしてください。(予約を希望する方)

※当日受付も可能ですが待ち時間が長くなることも考えられます。

4月20日(水)	10:00～15:00	10月19日(水)	10:00～15:00
5月18日(水)	10:00～15:00	11月16日(水)	10:00～15:00
6月15日(水)	10:00～15:00	12月21日(水)	10:00～15:00
7月20日(水)	10:00～15:00	1月18日(水)	10:00～15:00
8月17日(水)	10:00～15:00	2月15日(水)	10:00～15:00
9月21日(水)	10:00～15:00	3月21日(水)	10:00～15:00

●予約の申込先 日本年金機構 大分年金事務所
(お客様相談室) ☎097-552-1211

国民健康保険

国民健康保険の届出を忘れずに

職場の健康保険や後期高齢者医療制度などに加入していない人は、すべて国民健康保険に加入しなければなりません。次のような場合は、必ず14日以内に竹田市保険課、または各支所いきいき市民課で手続きをしてください。

内 容	届出に必要なもの
他の市町村から転入したとき	印かん (転入届を先にしてください)
職場の健康保険をやめたとき (退職、被扶養者からはずれた、任意継続が切れた等)	印かん 健康保険の資格喪失日がわかるもの ・健康保険の喪失証明書 ・任意継続切れによる加入の場合は、期限切れ日が保険証に記載してあれば保険証、記載無し、または期間満了前に喪失した場合は、喪失証明書 失業等給付受給中の人は、雇用保険受給資格者証
子どもが生まれたとき	印かん
生活保護を受けなくなったとき	印かん
他の市町村へ転出するとき	印かん、転出する人の保険証
職場の健康保険に入ったとき (就職・扶養の認定など)	健康保険の資格取得日がわかるもの ・職場の健康保険証 ・健康保険加入証明書 国保の保険証、印かん
死亡したとき	印かん、保険証
生活保護を受けるようになったとき	印かん、保険証
市内で住所が変わったとき	印かん、保険証
世帯主や氏名が変わったとき	印かん、保険証
世帯分離または合併したとき	印かん、保険証
保険証をなくしたとき	印かん、本人であることを証明するもの
退職者医療制度の対象になったとき	年金証書、保険証、印かん
就学のため転出するとき	在学証明書、保険証、印かん

※届出が遅れると、保険税は加入の資格を得た月まで遡って納めなければなりません。その間にかかった医療費は、全額自己負担となります。又、喪失の届け出が遅れ、国保の資格がなくなった後に国保の保険証を使って診療を受けた場合は、国保が負担した医療費を返していただくこととなりますので、必ず14日以内に手続きをお願いします。

●お問い合わせ 竹田市保険課 国保・高齢者医療係
☎63-1111 (内線135・136・137)

住宅補助

【木造住宅補助事業のお知らせ】

県では、地域材(スギ、ヒノキ等の国産材)を使用した木造の住宅、店舗等の新築・増改築に、25,000円～400,000円を補助します。

補助条件 ・地域材の使用量が、木材使用量の5割以上であること
・地域材の使用量が、新築の場合は10立方メートル以上、増改築の場合は1立方メートル以上
・木工事の着手が4/1以降であること

●お問い合わせ
大分県木材協同組合連合会 ☎097-532-7151

行政

ご存知ですか 行政相談委員

引き続き、本市担当の行政相談委員に次の4名の方が委嘱されました。

行政相談委員は、法律に基づき、総理大臣から委嘱され、無報酬で、国などが行っている仕事に対する苦情や要望・意見を住民から受け、問題解決の促進を図る住民と行政のパイプ役です。相談は無料、相談内容などの秘密は堅く守られます。お気軽にご相談ください。

行政相談委員

渡辺 義照	竹田市久住町大字栢木	77-2067
斉藤 義昭	竹田市直入町大字長湯	75-2692
太田 正一	竹田市荻町叶野	68-2480
小河 晴義	竹田市大字門田	62-3662

●お問い合わせ 竹田市総務課行政係 ☎63-4800

行財政改革推進員を募集しています

竹田市が推進する行財政改革の進行管理に関して、意見をいただく行財政改革推進委員を募集します。

応募資格 応募日現在、次の全てに該当する人
・市内に住所を有する20歳以上の人
・行政機関職員及び市議会議員でない人

募集人数 1名

任 期 平成25年3月31日まで

申込方法 住所、氏名、電話番号、性別、生年月日、職業、応募の理由(抱負等)を明記し提出(様式は任意)

選考方法 書類選考等

申込期限 4月11日(月)まで

●お問い合わせ 竹田市総務課行政改革推進室
☎63-1111 (内線214)

福 祉

はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施設の 利用を助成します (施設利用証交付)

はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧の施術に対して、助成制度があります。

対 象 者 市内に住所を有し、満年齢65歳以上の方。
※本年度、条例改正により対象年齢を70歳から65歳に引き下げました。

助成内容 1人につき年6回以内で、施術1回につき1,000円の施設利用証を利用できます。

申込方法 竹田市福祉事務所、または各支所いきいき市民課に備付の申込書に記入押印ののち、施設利用証を交付します。

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎63-4811
荻支所いきいき市民課 ☎68-2213
久住支所いきいき市民課 ☎76-1113
直入支所いきいき市民課 ☎75-2213

第22回豊の国ねりんピック「シルバー作品展」作品募集

6月29日(水)～7月3日(日)にアートプラザ(大分市)で開催される「シルバー作品展」に出品する作品を募集します。

- 1. 出品資格** 県内在住で昭和27年4月1日以前に生まれた人でアマチュアの方
- 2. 出品作品** ①出品者個人が創作し、未発表のものとする
②各部門とも1人1点
- 3. テーマ** 特に定めない
- 4. 出品料** 無 料
- 5. 出品部門** 日本画の部(日本画、水墨画)、洋画の部(油絵、アクリル画、水彩、素描、版画、パステル画)、彫刻・彫塑の部(彫刻・彫塑、その他立体作品)、工芸の部(陶芸、染織、漆芸、金工、木竹、人形、その他)、書の部(漢字、かな、篆刻、調和体及び前衛、刻字を問わず)、写真の部(カラー、モノクロは問わず)

※各部門とも詳細な規格は福祉事務所福祉係までお問い合わせください。

6. 募集期間 4月25日(月)～5月25日(水)

7. 申込方法 募集期間内に福祉事務所、各支所いきいき市民課に窓口備付の出品申込書を提出してください。

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎63-4811

竹田市のこよみ 4月 2011年

1(金)	・写団ちくでん四季展 (市民ギャラリー水琴館) 9:00-17:00 ~ 4/10
2(土)	
3(日)	※「岡城桜まつり」は、3月11日より発生しました東日本大震災の影響のため中止になりました ・竹田市歩こう会 JR竹田駅前10:00集合 (岡城) ※1
4(月)	・こころの健康相談 (荻福祉健康エリア)：要予約 13:30-15:30 (☎63-3346) ・荻の里温泉休館日
5(火)	・おはなしのへや 10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・第4回農業委員会総会 14:00-17:00
6(水)	・第111回白井路水恩祭 13:30-15:00 (白水井路土改良区湧水記念碑前) ・おはなしルーム 13:20 ~ 14:00 (市立図書館えほんのへや) ・ポリオ予防接種 14:00 ~ 15:00 (竹田総合社会福祉センター)
7(木)	・竹田温泉「花水月」休館日
8(金)	・おも城サイトミュージアム13:00 ~ (岡城跡駐車場) ※要予約：文化財課 ☎63-4818
9(土)	・さとうよしみ合唱団練習日 10:00-11:30 (佐藤義美記念館)
10(日)	・大分県知事、大分県議会議員選挙投票日 7:00-18:00
11(月)	・豊肥子牛市場 9:00 ~ ・荻の里温泉休館日
12(火)	・豊肥子牛市場 9:00 ~ ・おはなしのへや 10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 (竹田古町会場) 13:30-15:30 (☎63-3346)
13(水)	・真多呂人形展 9:00-17:00 (市民ギャラリー水琴館) ~ 4/24 3・6・12か月児健診 13:00 ~ (竹田総合社会福祉センター) ・ブックスタート14:00 ~ (竹田市総合社会福祉センター)
14(木)	・竹田温泉「花水月」休館日
15(金)	
16(土)	・10:00-15:00 屋外彫刻作品メンテナンス講習会 (竹田市文化会館)

陽目の里名水茶屋・キャンピングパーク
4月2日 営業開始
 営業時間 9:00 ~ 18:00 定休日 毎週水曜日
 ●お問い合わせ ☎0974-68-2210

第9回地域の岩石・地層・化石観察会

日時 5月8日(日) 10:00 ~ 15:00
 集合場所 竹田市文化会館
 講師 『くじゅう山の火山活動のなごりを求めて』
 くじゅう山南麓には、自然湧出温泉、炭酸泉、ガス噴気
 など、過去の火山活動の残りがある。
 それらを訪れ、地球の太古に思いをはせる。
 講師 工藤幸久(大分地質学会)
 参加費 大人1,000円(運営費) 高校生以下無料
 その他 長靴、筆記用具、弁当、飲み物、金槌、新聞紙、ビニール
 袋、マジック、カメラ、歩きやすい服装、防止、軍手、タオル
 など
 ●お問い合わせ・お申込み 竹田創生館 ☎0974-62-4100

☆行政相談のおしらせ

地区	相談日	時間	場所
久住		9:00-12:00	久住支所1階会議室
竹田	4月20日(水)	10:00-12:00	竹田市総合社会福祉 センター相談室
直入		10:00-12:00	直入支所相談室
荻	4月21日(木)	10:00-12:00	荻支所1階厚生室

●お問い合わせ 竹田市総務課 ☎63-1111

※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで (小河晴義 ☎62-3662、太田正一 ☎68-2480、渡辺善照 ☎77-2067、芥藤義昭 ☎75-2692)

17(日)	・家庭の日 ・いなりの日	
18(月)	・荻の里温泉休館日	
19(火)	・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)	
20(水)	・豊成牛市場 9:00-12:00 ・英雄寺ぼたん祭り9:00-17:00 (英雄寺) ・年金相談10:00-15:00 (竹田市高齢者いきいき交流センター) ・ポリオ予防接種14:00～15:00 (竹田総合社会福祉センター) ・大分県行政書士会無料相談会 13:00-16:00 (大分県行政書士会 (大分市)) ・こころの健康相談13:30-15:30 (直入保健福祉センター)：要予約 (☎63-3346) ・温泉療養文化館 御前湯 休館日	
21(木)	・竹田温泉「花水月」休館日 ・竹田市歩こう会 JR竹田駅前9:20集合 (天徳寺) ※1	
22(金)	・おも城サイトコミュニティアム13:00～ (岡城跡駐車場) ※要予約：文化財課 ☎63-4818	
23(土)	・さとうよしみ合唱団練習日10:00-11:30 (佐藤義美記念館)	
24(日)	・第43回荻地域自治会対抗ソフトボール大会 開会9:00～ (荻小学校グラウンド) ・「勲異抄を読む会」15周年記念 大活躍上映会13:30～ (佛蔵寺) ・「郷土の自然に親しみ植物を観察する会」(くたみ別れのヤマザクラ観察) 竹田市役所9:00集合 ※2	
25(月)	・荻の里温泉休館日	
26(火)	・荻神社春季大祭「ゆたて」 9:00-15:00 ・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)	
27(水)	・こころの健康相談13:30-15:30 (竹田市総合社会福祉センター)：要予約 (☎63-3346) ・第1回岡の里ふるさと歴史講座「五感でめぐる旅」 竹田市文化会館8:50集合 ※2 ・フォトコレクションXV 『工藤敬一写真展』 9:00-17:00 (市民ギヤラリー水琴館) ～ 5/8	
28(木)	・献血10:00-16:00 (竹田市総合社会福祉センター) ・こころの健康相談13:30-15:30 (久住保健センター)：要予約 (☎63-3346) ・第5回農業委員会総会 14:00-17:00 ・竹田温泉「花水月」休館日	
29(金)	・昭和の日 ・第23回さとうよしみ竹田童謡祭 10:00-12:00 (佐藤義美記念館及び周辺)	
30(土)	・第29回久住山岳滑翔大会慰霊祭・安全祈願祭 14:00-15:00	
月間	【納期限】 固定資産税全期・1期 5/2(月) ・春の全国交通安全運動 (5/11～20) ・みどりの月間 (4/15～5/14) ・第29回久住山岳滑翔大会 (5/1～7)	
その他	・第23回大野川源流祭り 5/3 10:00～ (陽目の里キャンピングパーク) ・瀧廉太郎記念音楽祭第65回記念協賛事業「南こうせつ「ありがとうふるさとコンサート」 5/29 ・阿蘇ゆるっと博「阿蘇トレジャーハンティング2011」 3/12～5/31 ☎竹田市観光ツーリズム協会 ☎63-0585	

※1 ☎竹田市歩こう会 ☎0974-62-2501 (山本)

※2 ☎竹田創生館 ☎62-4100

農業委員会事務局農地係からのお知らせ

第5回総会で審議する案件の、農地に係る各種申請受付の締め切りは、4月15日(金)となります。

●お問い合わせ 竹田市農業委員会事務局 ☎63-4815

4月 入園式・入学式



○保育所・保育園

3月31日(木) あさひヶ丘保育園
4月1日(金) 久住保育所、玉来保育園
2日(土) 竹田保育所、小羊保育園、都野保育所、白丹保育所、荻保育所、なおいり保育園

○幼稚園

7日(木) しらゆり幼稚園
13日(水) 竹田幼稚園、南部幼稚園、直入幼稚園

○小学校

12日(火)
竹田小学校、岡本小学校、豊岡小学校、南部小学校、相峰小学校、菅生小学校、宮城台小学校、城原小学校、荻小学校、白丹小学校、久住小学校、都野小学校、直入小学校

○中学校

11日(月) 竹田中学校、竹田南部中学校、緑ヶ丘中学校、久住中学校、都野中学校、直入中学校

○高校

11日(月) 竹田高校、竹田南高校
12日(火) 三重総合高校久住校

○支援校

12日(火) 竹田支援学校

竹田市一周ぐるりんツアーウォーク

日時 4月30日(土) JR豊後竹田駅前広場
5月1日(日) 久住支所前広場
両日とも8:00より受付

参加費 9:00スタート・17:00ゴール (予定)
一般1,000円 高校生以下500円

申込期限 4月20日(木)まで

お問い合わせ・申込み 竹田ウォーキング協会事務局
電話／FAX 0974-62-3075

老人日常生活用具給付等事業（火災警報器）について

- 対象者** おおむね65歳以上で要介護度が1から5に認定されている方で、市民税非課税世帯の方
- 基準額** 1台あたり4,000円（超える額は自己負担）
- *消防法改正により、すべての住宅を対象として火災警報器等の設置が義務づけられました。既存住宅については、平成23年5月末日が設置期限となります。
- お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎63-4811

肝炎治療

【肝炎治療に対する医療費助成制度のお知らせ】

- 大分県では、肝炎治療を受けられる方を対象に医療費の助成を行っています。
- 対象医療** ①B型、C型ウイルス性肝炎に対するインターフェロン治療（根治を目的として行なわれるもの）
②B型ウイルス性肝炎に対する核酸アナログ製剤治療
- 助成内容** 自己負担額が、世帯の所得に応じ、月額1万円または2万円に軽減されます。
- 対象者** 大分県内に住民票を有する方、対象となる医療は保険適用となっているものに限られます。
- 助成期間** 原則1年間ですが、核酸アナログ製剤治療については、医師が治療の継続が必要と認める場合、更新することができます
- お近くの保健所に、必要書類を添えて申請してください。
お問い合わせは、大分県健康対策課（☎097-506-2674）または豊肥保健所（☎0974-22-0162）まで。

【肝炎ウイルス無料検査のお知らせ】

- 大分県では、ウイルス性肝炎の早期発見、早期治療を促進するため、保健所及び医療機関でB型・C型肝炎ウイルスの無料検査を実施しています。
- 対象者** 今までに肝炎ウイルス検査を受けたことのない方で、健康増進事業などによる検査対象となっていない方（詳しくは、保健所にお問い合わせください）
- 受診方法** ①最寄りの保健所で受診する方法
②お近くの医療機関で受診する方法
- 手続き** ①保健所の場合は、事前電話予約が必要
②医療機関の場合は、保健所が発行する「肝炎ウイルス検査受診票」が必要です。最寄りの保健所にご連絡ください。
- お問い合わせは、大分県健康対策課（☎097-506-2673）または豊肥保健所（☎0974-22-0162）まで。

医療費助成

【子ども医療費助成事業について】

4月より小学校に入学される子どもさんと、4月以降入院をされる場合は、「子ども医療費受給者証」の申請をお

願います。（入院時の保険適用分の助成をします。有効期間は平成23年4月1日～平成32年3月31日です）

受給者証の発行は、竹田市健康増進課または各支所いきいき市民課にて随時行いますので、印鑑、保険証、口座の確認できるものをお持ちください。

●お問い合わせ 竹田市健康増進課 ☎63-1111（内線171）

防災

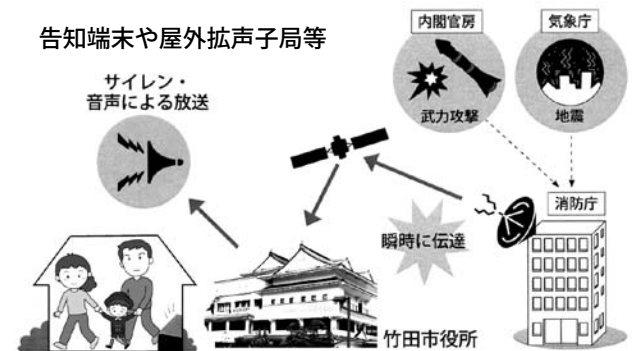
全国瞬時警報システム（J-ALERT）を開始します

◆全国瞬時警報システム（J-ALERT）とは？

緊急地震速報や武力攻撃に関する有事情報など、対処に時間的余裕のない緊急情報が国から人工衛星を介して送信され、市のケーブルネットワーク告知端末や屋外拡声子局等を自動的に起動して警報を放送するものです。

これらの情報が放送された時は、テレビやラジオをつけて情報に注意し、身の安全を確保して落ち着いて行動してください。

竹田市では、4月より本システムを稼働する予定です。



◆J-ALERTより放送される情報（例）

- 国民保護関係情報
 - ①ゲリラ等による攻撃情報
 - ②航空攻撃情報
 - ③弾道ミサイル攻撃情報
 - ④大規模テロ情報
 - 緊急地震情報 ※予想震度4以上
 - 噴火警報
- ◆注意事項
- ※この放送は自動で放送するシステムのため、24時間いつでも（真夜中でも）放送されます。
 - ※緊急地震速報は、震源が近い場合は放送が間に合わない場合があります。
 - ※このシステムは国が送信した情報を自動で起動させて放送するため、誤報が発信される可能性があります。その場合はキャンセル放送が流れます。
- お問い合わせ 竹田市総務課行政係 ☎63-4800

催し

佛巖寺山門完成記念「歎異抄を読む会」15周年記念

大活劇上映会 キッズ・サンガ・イン・ブツゴンジ

上映演目 ①臉の母 (片岡千恵蔵)

②恩讐の彼方に

活動弁士 麻生八咫さん

とき 4月24日(日) 開場13:30 開演14:00

ところ 佛巖寺(竹田市飛田川)

入場料 無料

●お問い合わせ 歎異抄を読む会 ☎63-0423 (吉岡)

講座

宮砥分館「陶芸教室」 陶芸生活はじめてみませんか

とき 金曜日、土曜日 10:00～16:00

ところ 旧宮砥小学校2階(竹田市次倉4459-1)

講師 高木 逸夫(無風窯) ※実費がかかります

●お問い合わせ 宮砥分館 ☎67-2001

もしくは ☎67-2900 (高木)

求人

ハローワーク豊後大野竹田職業相談室 ☎63-1101

- ①店舗スタッフ1人12～15万 ②保育士1人14.28万 ③接客・調理補助・清掃員2人13.42万 ④介護職員1人14万 ⑤作業指導員1人16.08万 ⑥ガソリンスタンド2人12.1万 ⑦事務及び配達員1人12.1万 ⑧自動車整備員2人12.62～20万 ⑨大型トラック運転手1人21.5万 ⑩開発技術者1人15～32万円 ⑪就労支援指導員1人14.08万 ⑫養鶏作業員1人15～25万 [パート求人(時給)]
- ⑬青果担当者1人730円 ⑭食品製造1人650～700円 ⑮厨房員2人700～800円 ⑯事務補助員1人650円 ⑰菓子販売・製造員1人700円 ⑱販売員3人650円 ⑲ホームヘルパー客係1人1100～1200円 ⑳歯科衛生士または歯科助手1人800～1000円 ㉑段ボール製造・配達員2人700円 ㉒園芸員2人680円 ㉓農作業員3人700～1000円 ㉔書店販売員1人700～750円

銀座発 カボスの知名度アップ期待!

東京銀座にある1700店舗の組合組織、銀座社交料飲協会では、ビルの屋上に作られた農園に様々な農作物を植えることで、地域との交流を深め、各地の農産物や伝統食を銀座の飲食店を中心に知名度広めていく活動を取り組んできました。

2月26日、その銀座社交料飲協会の白坂亜紀緑化担当部長が竹田市出身ということが縁で、今回竹田市特産のカボスの苗木5本を植栽することになり、銀座白鶴酒造ビル屋上(8階)で植栽セレモニーが行われました。

首藤市長ほか、協会関係者約20名が参加。白鶴酒造から提供された酒樽の鉢に苗木5本を植えた後、スコップで土を被せました。収穫されたカボスは、協会加盟店で活用されます。ロマンのある、東京銀座からの情報発信に期待しています!



←白坂緑化担当部長は「カボスの良さを東京の人にもっと知ってもらいたいです」。(写真右)



竹田の話題がまるごと観られるのはTCTだけ!!



たけたケーブルテレビ

◇たけた市民チャンネル3月特番情報

・竹田市温泉療養保健システムモニターツアー特別講演

放送日 4月9日、16日、23日、30日

土曜日 17:00～

3月2日(水)、「温泉を楽しみながら健康になる」をテーマに、予防医学としての温泉利用法をわかりやすく解説して下さった札幌国際大学観光学部の松田忠則教授による講演の模様をお届けします。

・竹田総合地域学センター由学館第1回由学館セミナー

放送日 4月10日、17日、24日、5月1日

日曜日 14:00～

3月13日(日)、由学館セミナーでは、「産物・産業による地域活性化の原点を探る」を課題テーマに、研究報告が行われました。この機会に竹田の地域学を深めてみませんか。

大河 独眼竜政宗 (毎週月曜更新)

放送日 第31回「子宝」(4/4(月)～4/10(日))

第32回「秀次失脚」(4/11(月)～17(日))

第33回「濡れ衣」(4/18(月)～24(日))

第34回「太閤の死」(4/25(月)～5/1(日))

放送時間 月曜・8:00～ 火曜・15:00～ 水曜・17:00～

木曜・20:00～ 金曜・9:00～ 土曜・23:00～

日曜・12:00～

※都合により番組内容が一部変更する場合があります。

●お問い合わせ 竹田市ケーブルネットワークセンター

☎76-1415

アナログテレビ放送は、7月24日に終了します!

現在アナログ放送を視聴している方は、地上デジタル放送への移行手続きが必要です。

☆地上デジタル放送(地デジ)が受信できますか

地上デジタル放送を視聴するためには、まず地上デジタル放送の電波を受信できることが条件になります。

たけたケーブルテレビに加入している方については、地デジを受信できます。

アンテナでテレビを視聴している方は、「地上デジタル放送が受信できるか」確認が必要です。今のアンテナの位置で地デジを受信できるかわからない方は、電話番号(0570-07-0101)にお掛けください。デジサポが無料で相談に乗ってくれます。

☆地デジ対応のテレビ又はチューナーが必要です

地デジの電波が受信できる方は、地デジに対応したテレビまたはチューナーを購入することで、地デジ放送が視聴できます。

市民税非課税世帯については、簡易チューナー(1台)の無償配布の制度があります。

無償チューナーを希望される方は、総務省地デジチューナー支援実施センター(0570-033840 ☎044-969-5425)までご連絡ください。

●お問い合わせ 竹田市ケーブルネットワークセンター

☎63-4832

休日及び夜間の在宅当番医

大久保病院 ☎64-7777

受付時間 平日夜間 18:00～21:00
土曜日 13:00～21:00
休日 8:30～21:00

- 注意事項
- ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけそこで診てもらおうようお願いします。
 - ・事前に症状、年齢、その他必要事項を病院へ電話連絡したうえで受診をしてください。
 - ・症状が重い場合は救急車を呼んでください。
- ※竹田医師会病院でも電話で相談いただき、可能な場合は診療します。

小児科外来休日当番院

当番日	医療機関	電話番号
4月2日(出)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田こども診療所	0974-63-3838
4月3日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
4月9日(出)	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田こども診療所	0974-63-3838
	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
4月10日(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田こども診療所	0974-63-3838
4月16日(出)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
4月17日(日)	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田こども診療所	0974-63-3838
	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
4月23日(出)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田こども診療所	0974-63-3838
4月24日(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
4月29日(金)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	みやわき小児科(三重町)【午前中】	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)【午前中】	0974-22-6333
4月30日(出)	竹田こども病院【午前中】	0974-63-3838
	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
5月1日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
5月3日(火)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
5月4日(水)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
5月5日(木)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121

受付時間 8:30～11:30 (こども診療所は9:00～11:30)
診療時間 9:00～12:00 (三重東クリニックは8:30～12:00)
※土曜日については、上記以外にも診療を行っているところがあります。

- 豊後大野市民病院 <http://ogatahp.ddo.jp/>
- みやわき小児科 <http://www.miyawaki-kodomo.com/>
- 三重東クリニック <http://www.sekiaikai.jp/index.html>
- 竹田市立こども診療所 <http://www.city.taketa.oita.jp/>
- 大分県豊肥保健所 (☎0974-22-0162)

歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
4月3日(日)	ふじさわ歯科医院(竹田)	0974-64-1118
4月10日(日)	竹下歯科医院(竹田)	0974-62-2662
4月17日(日)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001
4月24日(日)	歯科筑紫医院(久住)	0974-76-0024
4月29日(金)	高山歯科医院(竹田)	0974-63-2561

※診療時間を確認のうえ、受診してください。

○大分県歯科医師会 ☎097-545-3151

<http://www.oita-dental-a.or.jp/>

受診時の注意 当番院は、やむを得ず変更になる場合があります。あらかじめ当番院または竹田市消防署(☎63-0119)にお電話で確認されるようお願いいたします。また、院外薬局が休みの場合は、あらかじめ用意されて約束処方となることがありますので、ご了承ください。

第13回アルゲリッチ音楽祭

■公開バンドネオン・マスタークラス

5/11(水) 18:30開場 19:00開演

会場:iichiko総合文化センター・iichiko音の泉ホール(大分市)

出演:ネストル・マルコーニ 受講者:三浦一馬

■マラソン・コンサート ～タンゴとクラシックの出会い～

5/14(土) 15:30開場 16:00開演

会場:iichiko総合文化センター・iichikoグランシアタ(大分市)

出演:マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、ユーリー・バシュメット(ヴァイオリン)、ネストル・マルコーニ(バンドネオン)、エドアルド・フーベルト(ピアノ)、清水高師(ヴァイオリン)、キム・スーヤン(ヴァイオリン)、ユンソン(チェロ)、黒木岩寿(コントラバス)、三浦一馬(バンドネオン)、津久見樫の実少年少女合唱団 他予定

■公開ヴァイオリン・マスタークラス

5/15(日) 13:30開場 14:00開演

会場:ビーコンプラザ・国際会議室(別府市)

講師:清水高師 受講者:西田悠、廣津留すみれ

■チェンバーオーケストラ・コンサート

5/19(木) 18:30開場 19:00開演

会場:ビーコンプラザ・フィルハーモニアホール(別府市)

出演:ユーリー・バシュメット(指揮/ヴァイオリン)、マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、モスクワ・ソロイスト合奏団選抜メンバー&桐朋学園オーケストラ

●お問い合わせ (財)アルゲリッチ芸術振興財団 ☎0977-27-2299

本庁舎スロープの出入り口を広くしました

「玄関入り口は車椅子で通る様になっていますが、電動車椅子は角があって回れませんが、角を少し切ってくれると助かります」(90才老人)

先日、竹田市役所本庁舎玄関ロビーに設置している『目安箱』に、このような貴重なご意見をいただきました。

早速、本庁舎玄関前のスロープ拡幅工事を行いました。

3月7日、その工事が完了し、出入り口を広げることが出来ました。竹田市では「対話の市政」を推進するために市役所に目安箱を設けています市民の皆様のご意見・ご提言をお寄せください。

